

2022年度 一般選抜学生募集要項

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本学生募集要項の記載内容に変更が生じる場合があります。また、緊急事態宣言が発出された場合等には、学生募集を中止する場合があります。変更等がある場合は、本学ウェブサイトで公表しますので、受験予定者は随時確認してください。

入試日程等

出 願 期 間		2022年1月24日 (月) ～2月4日 (金)	
第1次選抜結果発表日		2022年2月11日 (金)	
第2次選抜日	前期日程	人文社会学部、法学部、経済経営学部【一般区分】、 都市環境学部都市政策科学科【文系区分】	2022年2月25日 (金)
		経済経営学部【数理区分】、理学部、 都市環境学部 (都市政策科学科【文系区分】を除く)、 システムデザイン学部、健康福祉学部	2022年2月26日 (土)
	後期日程		2022年3月12日 (土)
合格発表日	前期日程	2022年3月8日 (火)	
	後期日程	2022年3月21日 (月)	

出願する際は、この募集要項の他にインターネット出願のガイダンスページを熟読すること。
出願期間及び出願方法には十分注意すること。



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

旧首都大学東京

新型コロナウイルス感染症に伴う特別措置について

個別学力検査（第2次学力試験）における追試験について

新型コロナウイルス感染症に罹患した入学志願者等の受験機会を確保するため、一般選抜（前期日程及び後期日程）において、追試験を実施します。

●実施日

前期日程・後期日程ともに2022年3月22日（火）に行います。

●対象者

次の(1)又は(2)に該当する者で、他の国公立大学の前期日程試験で入学手続を行っていないもの

(1)新型コロナウイルス感染症に罹患又は罹患の疑いがあり、医師の診断書等が提出できる者

(2)新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者又は濃厚接触者の疑いで保健所等から連絡があり、検査を受けたことが分かる書類（医療機関が発行した領収書や診療明細書等）が提出できる者

※追試験の対象者には、試験前日（3月21日（月））までに、医師が治癒したと診断したことが分かる書類や検査結果が陰性だったことが分かる書類の提出を求めます。書類の提出がない場合は受験できません。

その他、新型コロナウイルス感染症に伴う特別措置に関する事項は、本学ウェブサイトで公表しますので、以下のURLより随時確認してください。

「2022年度 新型コロナウイルス感染症対応に係る入試の変更点について」

<https://www.tmu.ac.jp/news/entrance/26261.html>

目 次

I. アドミッション・ポリシー	1
II. 募集人員	11
III. 出願について	12
1 出願資格	12
2 出願期間等	12
3 出願書類一覧	14
4 出願上の注意	15
5 受験上及び修学上の配慮を希望する者の出願について	16
IV. 入学考査料の支払について	17
V. 選抜方式	17
VI. 選抜方法	18

前期日程

1 第1次選抜	18
2 第1次選抜結果の発表	18
3 第2次選抜	18
4 最終合格者の発表	
(1) 合格者の発表	20
(2) 合格通知書及び入学手続書類の郵送	20

後期日程

1 第1次選抜	21
2 第1次選抜結果の発表	21
3 第2次選抜	21
4 最終合格者の発表	
(1) 合格者の発表	23
(2) 合格通知書及び入学手続書類の郵送	23

VII. 入学者選抜の実施教科・科目等	24
● 人文社会学部	
人間社会学科/人文学科	24
● 法学部	
法学科	26
● 経済経営学部	
経済経営学科	27
● 理学部	
数理科学科/物理学科/化学科/生命科学科	28
● 都市環境学部	
地理環境学科/都市基盤環境学科/建築学科/環境応用化学科/観光科学科/都市政策科学科	32
● システムデザイン学部	
情報科学科/電子情報システム工学科/機械システム工学科/航空宇宙システム工学科/インダストリアルアート学科	38
● 健康福祉学部	
看護学科/理学療法学科/作業療法学科/放射線学科	43

Ⅷ. 入学手続の方法	48
1 入学手続期間	48
2 入学料及び授業料	48
3 注意事項	48
Ⅸ. 追加合格	48
Ⅹ. その他	49
個人情報取扱いについて	49
学生寮案内	49
第2次学力試験受験者に対する入試成績の開示について	49
入学後のコース及び教室決定・選択について	50
2022年度入学試験日程表	51
試験場への交通案内	52
出願前にもう一度	最終ページ
問合せ先	最終ページ

I. アドミッション・ポリシー

東京都立大学は、世界有数の大都市である東京都における唯一の公立総合大学として、「大都市における人間社会の理想像の追求」を使命とし、広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究するとともに、教育研究機関や産業界等との連携を通じ、大都市に立脚した教育研究の成果をあげ、豊かな人間性と独創性を備えた人材を育成し、人間社会の向上・発展に寄与することを基本理念としています。

このため、学士教育課程においては、人類共有の知的資産である学術研究に裏打ちされた専門分野の基本的な知識・理解及び技術並びに幅広い教養を身に付けさせるとともに、生涯にわたって有用となる能力を獲得させ、首都東京の諸課題、我が国や世界の課題の解決に貢献し、広く社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

十分な基礎学力とともに、次のような資質を有する学生を求めます。

1. 知的好奇心にあふれ、未知のものにチャレンジする人
2. 独創的な発想に富み個性豊かな人
3. 人とのかかわりを大切にし、社会に貢献する人
4. 向上心が強く努力を惜しまない人

▶ 人文社会学部のアドミッション・ポリシー

人文社会学部は、人間・社会・文化の広い分野について、高い専門性をもって学ぶことのできる特色を持った学部として高い評価を得てきました。人間・社会・文化への広い関心をもとに、人文社会諸学の原理や研究方法を修得することを目標としています。また、学んだ成果を言葉で表現し、発信することのできる、社会の形成者の育成を目的としています。

● 求める学生像

人間・社会・文化に関する広い関心と強い探究心を持つと同時に、人文諸科学の原理や研究方法を学ぶ意欲を持つ人

人間社会学科

人間社会学科は、人間・社会・文化への広い関心をもとに、社会、心理、教育、言語などに関する人文社会諸学の原理や研究方法を修得することを目標としています。また、学んだ成果を言葉で表現し、発信することのできる、社会の形成者の育成を目的としています。

● 求める学生像

人間・社会・文化に関する広い関心と強い探究心を持つと同時に、とりわけ社会、心理、教育、言語などを対象とする人文諸科学の原理や研究方法を学ぶ意欲を持つ人

● 高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 高等学校の段階で幅広く修得した教科に関する基礎的な学力と知識
2. 基礎的な言語能力に基づく思考力と表現力
3. 社会、心理、教育、言語などに関する広い関心と強い探究心

人文学科

人文学科は、人間・社会・文化への広い関心をもとに、哲学、史学、文学、芸術などに関する人文社会諸学の原理や研究方法を修得することを目標としています。また、学んだ成果を言葉で表現し、発信することのできる、社会の形成者の育成を目的としています。

● 求める学生像

人間・社会・文化に関する広い関心と強い探究心を持つと同時に、とりわけ哲学、史学、文学、芸術などを対象とする人文学の原理や研究方法を学ぶ意欲を持つ人

● 高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 高等学校の段階で幅広く修得した教科に関する基礎的な学力と知識
2. 基礎的な言語能力に基づく思考力と表現力
3. 哲学、史学、文学、芸術などに関する広い関心と強い探究心

▶ 法学部のアドミッション・ポリシー

私たちの日常の諸活動は、ことごとく社会秩序の安定の上に成り立っています。その秩序の形成には、公正なルールの確立とその適切な解釈と運用、さらには社会的諸力を結集させてそのルールに実効性をもたせることが必要です。そして、これこそが法学部のなかで学ばれる「法」や「政治」の働きなのです。

現代社会のグローバル化の急速な進展のなかで、環境問題や地域紛争、失業問題や社会保障不安など、さまざまな社会問題が生じて、私たちの日々の生活を脅かしています。こうした状況に適切に対応していくためには、社会の基本原理やルールを知った上で、問題の性質を自ら見極め、必要な情報を取捨選択し、問題解決の手段や方法を論理的に構成しなければなりません。このようなことから、今日、法や政治の原理的な探求が切実に求められるようになっていきます。

法学部では、学生一人ひとりの能力を引き出す少人数教育を通じて、現代社会の複雑性を踏まえた法的思考（legal mind）を修得し、多様な人々と協働する良き社会人としての特性（civility）を備え、現代に山積する諸問題に果敢に挑む有益な人材の育成を目的としています。

●求める学生像

- I. 現代社会の諸問題を解決するために法学・政治学を学びたいと思う人
- II. 社会的に有意義な活動に積極的に取り組もうという意欲がある人
- III. 法曹、公務員、企業等、社会の第一線で活躍したい人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 現代社会の諸問題を学ぶために必要な基礎知識及び基礎学力
2. 問題への主体的な取り組みのために必要な論理的な思考力
3. 幅広い視野から多様な人々と協働して問題を解決するために必要な外国語能力を含む表現力

▶ 経済経営学部のアドミッション・ポリシー

社会が秩序を保ちながら大きく進化・発展していくためには、様々な人々、機関、国家の諸活動を適切に調整することが重要です。その際、2つの調整メカニズムが重要な役割を果たします。ひとつは、自由な意志を持った個人の諸行動を価格の変動を通じて自動的に調整する「市場のメカニズム」、もうひとつは、政策目標を設定し、計画を立案し、それに基づいて社会の様々な利害関係や行動を調整する「組織のメカニズム」です。前者を中心に社会を考察していくのが経済学であり、後者が広い意味での経営学です。これらは、現実により良い社会や組織を構想し実現するための両輪であり、社会や組織で起こりうる様々な問題を解決するための「政策科学」なのです。

経済経営学部では、教養教育と専門性の高い先進的な教育を通じて、社会や組織のリーダーとして、市場と組織という2つのメカニズムを理解し、社会全体を望ましい姿に導く政策立案能力と問題解決能力を涵養します。

●求める学生像

- I. 経済・経営に広く関心を抱き、その事象を探り、これらの原理の解明に取り組みたい人
- II. 大学で学んだ知識や思考法を将来の経済・経営に活かし、社会に貢献したい人
- III. ゼミナール・講義の場、その他大学における活動を通して他者と交わり、自己を向上させようとする人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 経済学・経営学を学ぶための基礎となる幅広い基礎学力及び論理的思考能力
2. 主体性をもって多様な人々と協働する態度
3. 事実や見解などの情報を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力
4. 数理的な考え方を要する科目の受講に必要な数学の基礎学力と分析能力
5. 経済社会の歴史的変遷や基本的仕組みについての理解や幅広く深い洞察力

▶ 理学部のアドミッション・ポリシー

理学部では、創造性に富み、夢を持ち、自然界の仕組みを明らかにしたり、人類の将来に関わる新たな課題に果敢にチャレンジしたりする研究者や技術者の育成を目指しています。したがって、理学部では、次に挙げるような資質を備えた人を求めています。

● 求める学生像

1. 理学部各学科の教育目標に基づく学士課程教育を受けるにふさわしい基礎学力を備え、向上心が強く努力を惜しまない人
2. 知的好奇心にあふれ、未知のものにチャレンジし、独創的な発想に富み、個性豊かに学習・研究に邁進できる人
3. 倫理性に富み、自然や人類社会の現状と将来に世界的な視点から深い関心を持ち、その課題発見と解決に寄与する意欲を持っている人

数理科学科

数学は、科学の言葉です。その美しい理論を理解し、独創性を発揮するには、深く論理的に考える力と、直感的・感覚的に理解する力を養うことが大切です。以上のことをふまえ、数理科学科では、次のような人の入学を歓迎します。

● 求める学生像

- I. 数学が好きで、さらにきちんと学ぶ意欲と粘り強さのある人
- II. 数理科学のセンスを磨き、応用へとつなげるチャレンジ精神を発揮したい人
- III. 学んだ知識とともに、数学の精神や発想法を現代社会に活かしたい人

● 高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 大学で数学及び数理科学を学ぶために必要となる数学及び理科の十分な基礎学力
2. 論理的に物事を考える思考力と、考えをまとめる日本語と外国語の能力
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

物理学科

物理学は、物質の成り立ちから宇宙の構造まで、自然界の基本的な仕組みを探る学問です。私たちを取り巻く環境や、生活を支えている技術を考える上でも、物理学の基礎は欠かせません。本学科では、好奇心に満ち、積極性のある次のような人の入学を大いに歓迎します。

● 求める学生像

- I. 物質の成り立ちから宇宙の構造まで、自然界の基礎的なしくみを理解したい人
- II. 実験や観測を通じて、物質の従う法則を探求したい人
- III. 数学や物理、化学などの理系科目が好きで、さらに深く学びたい人

● 高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 大学で物理学を学ぶために必要となる数学及び理科の十分な基礎学力
2. 論理的に物事を考える思考力と、考えをまとめる日本語と外国語の能力
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

化学科

化学は自然科学の幅広い分野で重要な役割を担っている原子や分子、またその複合体や集合体を扱う学問です。化学科では新しい物質を作り出すこと、様々な現象を分子のレベルで理解することを目指しています。次のような意欲的な方々を歓迎します。

● 求める学生像

- I. 論理的に物事を考え、新しいことに挑戦したい人
- II. 中学や高校の化学実験を「面白かった」と感じた人
- III. 分子が関与する様々な学問領域に幅広い興味を持っている人

● 高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 大学で化学を学ぶために必要となる数学及び理科の十分な基礎学力
2. 論理的に物事を考える思考力と、考えをまとめ伝える日本語の能力
3. 大学で化学を外国語により学修するための基礎となる語学力
4. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

生命科学科

生命科学は、生命の仕組みを明らかにし、生物と環境との関係や進化について考える学問です。次のような人たちと、生命科学・生物学の学習と研究を進めていきたいと考えています。

●求める学生像

- I. 生物が大好きで、実験・観察・研究をしたい人
- II. 生命科学を通じて、研究する力、企画力、実行力を身につけたい人
- III. 英語力も高めて、国際的に活躍したいと思っている人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 大学で生命科学を学ぶために必要となる理科、数学、語学の十分な基礎学力
2. 論理的に物事を考える思考力と、考えをまとめる日本語又は外国語の能力
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

▶ 都市環境学部のアドミッション・ポリシー

都市環境学部では、都市の文化を継承しつつ、安全・安心・快適な都市環境を持続的に発展・維持させるための科学体系や施策について、専門分野ごとに、また学際的・文理融合的に掘り下げて学び、研究しています。本学部では、講義で系統的に基礎を固めるとともに、様々なフィールドワークや実験室での分析、シミュレーション、そして真摯な議論を通じて、都市環境を構成する人間、物質、エネルギー、情報、人工物、自然を解析し探究する能力を培い、都市環境の課題を発見し解決し得る先導的人材を養成する教育を行っています。

●求める学生像

1. 都市環境学部で主体的に学修して自らの夢を実現するための十分な学力と熱意を持つ人
2. 広い視野と柔軟な思考力を持ち、国際性を備えた巨大都市社会のリーダーになろうとする人
3. 工学、自然科学、人文社会科学を融合した総合的アプローチから、多様な都市環境問題を解決しようとする意欲を持つ人

地理環境学科

地理環境学科の特色は、地形や気候、土壌、植生などの自然環境、地域の文化や社会・経済などの人文社会環境、そして両者の相互関係について幅広く学び、研究できるところにあります。特にフィールドワークのスキルの修得と、GIS（地理情報システム）の活用を重視しており、最先端の地理学を基礎から学べる日本で数少ない理系の地理学教室です。本学科では、地理学を中心とした環境科学の知識に基づく地域・地球の理解を通して、自然環境と調和した人間社会の実現に貢献できる技術者、教育者、研究者などの人材を育成する教育を行っています。

●求める学生像

- I. 自然の成り立ち、人間と自然の関わり、地域の違いに興味のある人
- II. 野外で調査したり、自然を観察したり、地図を使うことが好きな人
- III. 身近な地域から地球規模に至るさまざまな環境問題・自然災害・社会問題に幅広く関心を持っている人
- IV. 自ら課題を発見し、それを解決するための努力ができる人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 広範な視野と柔軟な思考力を獲得するための、幅広い勉学に基づく十分な基礎学力
2. 地理学、環境科学、地球科学を学ぶために必要な、理数系科目と外国語の高い基礎学力
3. 物事を筋道立てて思考できる論理構成力と、それを適切に表現できる言語運用能力の素養
4. 主体的・意欲的に物事に取り組み、自ら工夫して成し遂げようとする姿勢

都市基盤環境学科

本学科では、都市が直面する様々な問題（特に人口減少・超高齢化社会を見据えた活力ある国土・都市基盤の再構築と都市インフラの老朽化に備えた効率的な維持管理、都市環境の維持・保全・創造、自然災害に対する防災）に主眼を置き、既成の概念にとらわれず総合的な視野を有する土木技術者として、主体的な判断、行動能力を有し、創造的な力を発揮出来る人材を教育・育成します。

●求める学生像

- I. 都市基盤環境学科で学修するための十分な基礎学力を持つ人
- II. 広い視野と柔軟な思考力を持ち、社会や自然とのつながりを論理的に考えられる人
- III. 豊かな教養を備え、地域社会や国際社会で活躍する意欲のある人
- IV. バイタリティにあふれ、困難な問題にチャレンジしていける人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 都市基盤環境学科で学修するための十分な数学、理科の基礎学力
2. 論理的な文章を書くための国語力、及び情報を読み解き簡単な文章にまとめることのできる外国語力
3. 自然・社会的な多様な視点を基礎とする柔軟な観察力
4. 他人と協働し一つのものを上げるために必要なコミュニケーション能力

建築学科

建築学科では、建築全般の幅広い知識と技術を有するとともに、東京をはじめとする大都市における建築的諸問題及びそこから発生する都市的諸問題に積極的に取り組む建築家、都市計画家、設計者、技術者などの職業専門家と教育・研究者を育成します。持続可能な都市環境を実現するために、建築及びその集合である都市空間を、安全かつ快適で美しく構築する理論及び技術と仕組みを修得するため、建築と都市に関する総合的な教育を行います。また、建築及び都市空間で構築される都市環境とその活用主体である人間及び社会との関わりを、総合的に理解し評価できる知識と思考能力を養成します。

●求める学生像

- I. 数理、人文、社会、語学などの総合的な基礎学力を持っている人
- II. 建築及びその集合である都市に大いに興味があり、学習意欲及び行動力がある人
- III. 的確な論理を構築し、それを適切に表現できる能力がある人
- IV. 造形や空間デザインに興味があり、それを美しく表現する意欲のある人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 数学、国語、理科、社会、外国語などの総合的な基礎学力
2. 的確な論理を構築し、それを適切に表現できる能力
3. 建築、都市、造形、空間デザインに関する学習意欲及び行動力
4. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ能力

環境応用化学科

都市が抱える環境や資源・エネルギーに関する様々な問題を「化学の力」を利用して解決するには、環境と共生しながら持続的な発展を可能とする新材料や新デバイスを開発していかなければなりません。そのためには「物質の持つ本質を原子・分子レベルで理解できる基礎学力」と、「より複雑な理論や現象を解明できる応用力」が必要とされます。

環境応用化学科では、工学としての化学である応用化学・材料化学に関する教育と研究を行っています。特に、有限な資源やエネルギーのもとで人類や都市社会が、環境と共生しながら持続的に発展して行くために必要な応用化学・材料化学の実現に貢献できる研究者・技術者を育成します。本学科では、確かな基礎学力と高い専門性だけでなく、主体的に課題を発見し解決できる能力と自分の意見を論理的に述べる力を育て、グローバルに活躍できる人材を輩出する教育を行っています。

●求める学生像

- I. 都市の環境問題やエネルギー問題に関心があり、「化学の力でそれらの課題解決に貢献したい」と考えている人
- II. 都市社会・生活の持続的な発展に役立つ新材料や新デバイスの開発に意欲がある人
- III. 応用化学・材料化学に関する専門知識を活用して、将来「国際社会で活躍したい」という意欲がある人
- IV. 入学後も「旺盛な好奇心」、「自主的に考え行動する力」、「未来を切り開く強い意欲と意識」などを発揮できる素質を兼ね備えた人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 物質の持つ本質を原子・分子の立場から理解するために必要となる数学、理科において十分な基礎学力を持つ人
2. 高等学校等において基本とされる教科・科目について幅広く勉強して偏りのない素養と語学力がある人
3. 知識・技能を活用して課題を発見し、それを解決するために必要な思考力・判断力・表現力を有している人
4. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付けている人

観光科学科

観光科学科では、「観光」の資源やフィールドとなる都市・集落や自然地域の諸環境の保全や改善、適正な利用を担える人材や、観光を活用して地域の魅力や価値の向上、地域経済の向上といったまちづくりを担える人材を育成し、人間社会の向上・発展に寄与することを基本理念としています。特に、理学的・工学的な知識と技術を用いて、現象解明から計画立案、観光振興の実践活動を担える技術者、コンサルタント、レンジャー等の専門家、観光の総合的なマネジメントを行うことができる複数の専門性と豊かな発想力を身につけた実務的ジェネラリストなどを育成します。また、国際的な場での研究・学修を通して、国内外の企業や行政、NGO/NPOで活躍できる人材を育成します。

●求める学生像

- I. 自然環境や歴史・文化、芸術、産業などの地域資源の保全・活用や、観光地経営に関わる、理系や人文社会系の講座や演習に興味のある人
- II. もの・人との共生や交流を通して、人に夢や活力を与える観光を学ぶ意欲を有する人
- III. 観光の調査から計画、実践までの技術を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 学際的な分野である観光に科学的に取り組むための、理系・文系にわたる総合的な学力を有する人
2. 人・空間・情報を分析する論理的思考の素養や基礎的な学力を有する人
3. 多様な人と観光に取り組むための、外国語を含む基礎的なコミュニケーション能力や構想力、調整力を有する人
4. 多様な資源の価値をみとめ、課題に対してステークホルダーらと積極的に協働し、その解決に向けて主体的に取り組める人

都市政策科学科

東京を含めた日本の都市は、環境の維持・向上、高齢化・健康・福祉、産業の発展、防災復興、多様な人々の共生など複雑な都市課題を創造的に解決していかなければなりません。そのためには、グローバルな視点を持ち、あるべき都市社会の姿、都市空間の姿を的確に描き、それを制度として立案し、人々とともに実現していくという、都市づくりの政策立案能力が必要となります。

この都市づくりの政策立案能力は、社会学、法学、政治学、行政学、経済学、都市工学、建築学などの諸分野の幅広い知識・方法論・技術が必要となります。また、実際に制度を動かしていくためには、教室や教科書から得られる知識だけでなく、現場を知ることや体験から得られる知識も必要となります。

本学科は、このような幅広い学問分野における教育・研究を“都市に関する政策科学”としてさまざまな授業、現場体験型授業、少人数のワークショップ、卒業研究などを通じて提供・実践していきます。

●求める学生像

- I. 都市の抱える複雑な問題に対して、学究的かつ人に対して優しい心で (Cool Head, but Warm Heart) チャレンジしていくことができる人
- II. 大学で学んだ都市づくりの政策立案能力を活かし、社会に貢献したいという気持ちのある人
- III. 講義、現場体験型授業、少人数のワークショップ、その他大学における他者と交わる活動等を通して自己を研鑽していくという意欲のある人
- IV. 自主的に考え行動する力を持つ人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 人文、社会、数理、語学などにおける幅広い基礎的学力
2. 大学入学以降、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶために必要な、コミュニケーション力、情報活用能力、問題解決能力・創造的思考力
3. 的確な論理を構築し、それを適切に表現できる能力

▶ システムデザイン学部のアドミッション・ポリシー

システムデザイン学部は、工学の普遍的基礎をなす機械工学、電気・電子工学、更に昨今の先端技術を支える情報科学／工学、ロボット工学、生命生体工学、そして総合工学の代表である航空宇宙工学をはじめとする各種応用分野の教育研究を行います。加えて、それら学問分野を総合して構成されるシステムを、機能と感性／アートの両面からデザインするシステムデザイン技術の創成を推進します。本学部は、複雑化した社会において人とのかかわりを大切に、未来に夢を持ち、幅広いもの見方で新しい価値の創造に取り組む意欲がある人材の育成を目指しています。

●求める学生像

1. 先進的なシステムデザイン工学を修得するに十分な高校段階での基礎学力を持つ人
2. 先進的な開発や人や環境に配慮した新しいシステムの創造に関心を持ち、機械、電気・電子、情報、航空宇宙、デザインなどの専門分野を複合・横断的に学びたい人
3. 知的好奇心を持って、新しい価値の創造に積極的に取り組む意欲がある人
4. 国内外の研究機関との研究交流・共同研究に興味を持ち、国際的に挑戦したい人

情報科学科

現代社会において情報技術は世界中いたるところで用いられ、歴史上4回目の「産業革命」と呼ばれるほどの変化を引き起こしています。19世紀半ばまでは土木工学中心の時代でしたが、20世紀に入るまでには機械工学が発展し、第一次世界大戦で電気工学や化学工学、そして第二次世界大戦で原子力工学が役割を拡大させていきました。21世紀を迎え、インターネットの拡大や計算機の高度化、人工知能やマルチメディア処理技術の発展、そしてビッグデータ時代の到来とともに、情報技術が世界を動かす基盤となりました。世界各地から新しい技術が日進月歩で登場するため、未知の状況でもリスクを的確に判断し、過去を把握して将来を見据えた決断を行い、グローバルに活躍する人材の養成が急務となっています。

そこで、情報科学科では、このような時代に対応し、国際的に通用するソフトウェアエンジニアを育成することを目指しています。

●求める学生像

- I. 高度情報化社会を支える技術・専門知識に幅広く興味を持っている人
- II. 世界にインパクトを与える仕事に挑戦したい人
- III. 全員がリーダーシップを発揮して問題解決に当たるプロジェクトに貢献したい人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 数学・英語・理科において専門科目を理解するために必要な基礎学力
2. 自ら学び、考えるために必要となる論理的な思考力
3. 主体性を持って多様な人々と協働する力
4. チームの一員として問題意識を共有できる能力

電子情報システム工学科

ソフトウェアとハードウェアとの総合技術の粋を集めたスマートフォンやEV（電気自動車）が、これからの社会生活に大きな変化をもたらすと言われていています。電子情報システム工学科では、現在及び未来の社会・産業の要請に応え得る情報システム技術と電気電子通信システム技術の素養と確かな実践力をソフトからハードまで幅広く身に付け、それらの技術を融合した新たな技術を創成し得る「底力」のある人材を育成します。本学科では現代社会の基盤技術である「情報」と「電気電子通信」を融合した技術分野を集中的に学び、研究することができます。進歩が著しいこの分野において、常に新しい技術を生み出すことのできる技術者となるために、基礎科目を徹底重視の上で、幅広い学問領域をバランスよく学修できる教育を行っています。

●求める学生像

- I. 情報システム技術、電気電子通信システム技術、またそれらを融合した新しい技術を社会や産業に展開することに興味を持っている人
- II. 新しいことへチャレンジする精神が旺盛で、技術者に必要な課題発見能力、計画立案・遂行能力、チームワークなどの素養を身につけたい人
- III. ソフトウェアとハードウェアを総合的に学びたい人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 数学、理科、英語において専門科目を理解するために必要な基礎学力
2. 専門分野のみならず、社会の情勢や倫理観を踏まえて行動できる幅広い学力
3. 状況に応じた的確な判断を下せる論理的な思考力
4. 主体性を持って多様な人々と協働する力

機械システム工学科

機械システム工学は、知能や生体などのキーワードとも融合しつつ、現代社会をあらゆる側面から支える重要技術分野であり、我が国の産業基盤を構成するとともに、さらに発展し続ける実学分野です。機械システム工学科では、卓越した創造性をもって高度な機能と環境調和性を具現化することで、より豊かで高い持続性を有する社会を実現するための新しい機械システムを創成し、次世代の科学技術の発展を担う、広範な視野と高い論理的思考能力を有する技術者・研究者を育成することを目的としています。

●求める学生像

- I. 今後の社会を支える多様で新しい機械システムの創成に関わりたいと考える人
- II. 新しい方法論の展開、技術の研究・開発に取り組む上で、主体的に計画を立案し、自ら課題を設定する積極性を有する人
- III. 国内外の開発・研究機関との技術交流・共同研究・共同開発に高い興味を持ち、積極的に参加する人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 数学・理科・英語において先進的な機械システム工学を修得するため必要な基礎学力
2. 自然科学に関する論理的な思考力と表現力
3. 多様な考えを持ち、多様な立場にある人たちと協働し共創する力

航空宇宙システム工学科

最先端の総合工学の結晶である航空機、ロケット及び人工衛星などの航空宇宙システムは、今日では移動手段・情報通信・気象予報等、現代社会を支える基盤技術となっています。航空宇宙システム工学科では、航空宇宙分野はもとより次世代科学技術の発展を担うことができるような応用能力に富み、広い視野を持った技術者・研究者を育成することを目的としています。

●求める学生像

- I. 宇宙の開発利用、航空機やロケットなどの航空宇宙輸送システムに興味を持っている人
- II. 航空宇宙工学において、新技術の研究・開発に取り組む積極性を有する人
- III. 国内外の研究機関との研究交流・共同研究に興味を持っている人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 数学・理科・英語において先進的な航空宇宙工学を修得するために十分な基礎学力
2. 自然科学に関する論理的な思考力と表現力
3. 多様な考えを持つ人たちと主体的に協働する力

インダストリアルアート学科

現代の社会が抱える様々な問題や文化産業活動にデザインの側面から解決策を提案し実践する能力を養成します。産業活動を工学的かつ表現的な視点から再編集し、新しい価値やグローバルなネットワークを生み出していくことができる総合的能力を備えた研究者、エンジニア、デザイナー、クリエイター、プロデューサー等の人材の育成を目指しています。特に「プロダクトデザイン分野」と「メディアアート分野」の両分野が相互に関連をとることで、エンジニアリングをベースにした新しい視点からのデザイン提案能力の育成に力を入れています。

●求める学生像

- I. 人とのコミュニケーションを大切にすダイナミックな行動力のある人
- II. デザイン、システム、社会に対して、豊かな感性をもって幅広い視野で捉えることに興味を持っている人
- III. 先進のデザイン学を学ぶために十分な数学や英語などの基礎学力を持っている人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 先進的なデザイン学の専門技術の修得に必要な数学、理科、語学の基礎学力
2. 国際情勢を把握した上で自身の考えを世界に発信するための論理的な思考力
3. 自身の考えを形で表現するための基礎的な造形表現力
4. 主体性を持って多様な人々と協働する力

▶ 健康福祉学部のアドミッション・ポリシー

生命の誕生から終焉に至るまでの多種・多様な健康・医療課題を有する方々と時間を共有し、その方々を敬愛し寄り添うことができ、かつ、自己の成長とともに豊かな人間性を得るために自己研鑽できる人材を求めます。

大都市の健康未来を創ることのできる実践的医療職・専門職を養成します。そのためには、幅広い教養を身につけ専門的知識・技術とともに医療的倫理観を基盤にして、患者の皆様や障がい有する方々の病状や症状並びにその方々を取り巻く環境を把握し、様々な状況にも対応できる人材を育成します。

●求める学生像

1. 人の健康に関心を持ち、グローバル化した大都市東京の多種・多様な健康・医療課題に挑戦できる人
2. 健康に問題を抱える人々を敬愛し、寄り添うことのできる豊かな人間性を有する人
3. 豊かな教養と専門的学問知識（知の継承）を基盤にし、自ら考え、実践（知の応用・展開）できる人
4. 現在の臨床医療の遂行にはチーム医療が不可欠であり、他の専門職を理解し協働して学ぶ姿勢を有する人
5. 国際的視点を有し、異文化に対して寛容かつ柔軟に対応できる人

看護学科

専門的な知識や技術、判断力及び倫理的な感受性を身につけ、地域包括ケアの時代に、病院のみならず保健・医療・福祉のそれぞれの分野で、社会からの期待に応えられるサービスを提供する専門職として活躍できる看護職を育成します。

国際社会における看護の役割と機能に関心を持ち、国際的視野を有する看護職を育成します。

●求める学生像

- I. 人の健康と生命に関心を持ち、看護に関する学問・実践に意欲がある人
- II. 幅広い関心と豊かな感受性をもち、相手の立場や気持ちを理解してコミュニケーションを取れる人
- III. 確かな知識と柔軟な発想をもち、新しいアイデアや課題を見出し取り組むことのできる人
- IV. 主体性をもって多様な人々と連携・協働し、リーダーシップがとれる人
- V. 国際社会や異文化に対して広い関心を持った人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 大学で看護学を学ぶために必要となる諸科学に対する十分な基礎学力
2. 目的に向かって自ら考え、自分の意見を言葉にする力
3. 主体性をもって多様な人々と協働する力
4. 国際社会においても活動できる基礎的コミュニケーション力

理学療法学科

超高齢化社会の世界のトップランナーとなった日本において、理学療法には、理学療法の知識・技術に立脚し、各職種間の連携を通して医療分野をはじめ、地域、予防・健康増進、スポーツなど幅広い分野での活躍が求められています。本学科では柔軟な思考力と広い視野と豊かな人間性といった資質を備え、医療専門職や研究者として国際・地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

●求める学生像

- I. 豊かな人間性を持ち、理学療法を学ぶことで、保健・医療・福祉の分野に貢献できる人
- II. 幅広い基礎学力と応用能力を持ち、初心を忘れずに入学後も継続的自己学修ができる人
- III. 国際的視野を持ち、関係職種と協調し活躍できる人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 大学で理学療法を学ぶために必要となる高等学校主要科目の十分な基礎学力
2. 自然科学に関する論理的な思考力と表現力
3. 状況に応じた的確な判断を下せる論理的思考能力
4. 主体性をもって多様な人々と協働する力

作業療法学科

作業療法学科では、人種や言語等を問わず人間を思いやる心と問題解決のための思考力・創造性を自ら育むことができる人を求めています。健康と生活の専門職である作業療法に興味と具体的なイメージを持ち、人と社会に貢献するための強い探究心と向上心を持ち続けられる人材を期待しています。

●求める学生像

- I. コミュニケーションの幅を広げ、障がいのある人や他の職種の人と交流する意欲を持つ人
- II. 作業療法を理解し、人々の健康的な生活に役立てる意欲と能力を持つ人
- III. 柔軟な思考力と創造性を身につけて、様々な問題解決のために行動できる人
- IV. 科学的視点を基盤として、社会で活躍できる学際性とリーダーシップ能力を自ら育む意思を持つ人
- V. 諸外国の人々と交流し、グローバルな視点で事象をとらえることができる人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 高等学校までに修得すべき科目の十分な学力
2. 相手を思いやりながら判断を下せる柔軟な思考力と予見力
3. 基礎科学を基盤とした観察力と表現力
4. 諸外国を問わず多様な人々と交わり協働する力

放射線学科

放射線学科は、放射線技術学の分野で確立された医療技術を理解し、それを安全かつ正確に遂行できる能力を持った診療放射線技師の育成を図っています。そのため、十分な基礎学力を有し、医療の知識・技術への学習意欲を持ち、責任感と協調性に優れた能力を有する人材を求めます。

●求める学生像

- I. 人体の構造など医学分野や、放射線、診療機器、コンピュータなどの理工学分野について学習意欲のある人
- II. 主体性、協調性に富み、かつ責任を持って行動できる人
- III. 人を思いやる優しい心を持ち、かかわりを大切にする人

●高等学校段階までに修得すべき学力・能力

1. 大学で放射線科学を学ぶために必要となる数学及び理科の十分な基礎学力
2. 自然科学に関する論理的な思考力、表現力及び研究能力
3. 状況に応じた的確な判断を下せる応用力
4. 主体性及び協調性を持って多様な人々と協働する力

II. 募集人員

学部・学科名	入学定員	募集人員																			
		一般選抜			学校推薦型選抜				総合型選抜					特別選抜							
		前期日程	後期日程		一般推薦	指定校推薦	特別推薦(高校特定型)	特別推薦(都立工業高校等)	ゼミナール	科学オリンピック	グローバル人材育成	SAT/ACT・IB	研究室探検	社会人	外国人(中国引揚者等子女を含む)	私費外国人留学生	私費外国人留学生(大学入学資格試験・統一試験(日本以外)利用)				
人文社会学部	人間社会学科	110	75	70	5	28	10	18			2			2			5	1	若干名	4	
	人文学科	90	53	48	5	29	5	24			2			2			6	1	若干名	5	
	小計	200	128	118	10	57	15	42			4			4			11	2	若干名	9	
法学部	法学科	200	165	150	15	28		28									7	チャレンジ 若干名	4	3	
経済経営学部	経済経営学科	200	140	一般100 数理20	20	50		30	20		5			5			5			5	
理学部	数理科学科	45	35	25	10	10	6	4									若干名		若干名	若干名	
	物理学科	47	36	24	12	11	5	6			若干名			若干名			若干名		若干名	若干名	
	化学科	48	38	28	10	10	5	5			若干名			若干名			若干名		若干名	若干名	
	生命科学科	60	30	20	10	9	6	3			19	15	若干名		SAT/ACT IB 2		2	若干名	若干名	若干名	2
	小計	200	139	97	42	40	22	18			19	15	若干名		4		2	若干名	若干名	若干名	2
都市環境学部	地理環境学科	30	22	17	5	3	3			5	3~4	若干名	1~2				若干名		若干名	若干名	
	都市基盤環境学科	50	34	26	8	13	5	8			2		2				1		若干名	1	
	建築学科	50	35	27	8	11	5	6			2		2				2		若干名	2	
	環境応用化学科	60	34	25	9	17	8	9			7		2	1		4	2		若干名	2	
	観光科学科	30	25	18	7	3	3			2			2				若干名		若干名	若干名	
	都市政策科学科	35	35	文系20 理系10	5						若干名		若干名				若干名			若干名	
小計	255	185	143	42	47	24	23			18	4	2	8			4	5		若干名	5	
システムデザイン学部	情報科学科	50	32	22	10	15	8	6			1	若干名		若干名	若干名			3		若干名	3
	電子情報システム工学科	85	66	49	17	17	7	8			2							2		若干名	2
	機械システム工学科	90	59	40	19	27	15	11			1							4		若干名	4
	航空宇宙システム工学科	45	34	26	8	9	5	4										2		若干名	2
	インダストリアルアート学科	50	38	30	8	11	11											1		若干名	1
小計	320	229	167	62	79	46	29			4	若干名		若干名	若干名			12		若干名	12	
健康福祉学部	看護学科	80	39	35	4	40	31	7	2		1	1					若干名	若干名			
	理学療法学科	35	24	20	4	10	10				1	1									
	作業療法学科	40	18	15	3	20	15	5			2	2					若干名	若干名			
	放射線学科	40	27	22	5	13	7	6													
小計	195	108	92	16	83	63	18	2		4	4						若干名	若干名			
合計	1,570	1,094	887	207	384	170	188	22	4	50	23	2	17	4	4	42	2	4	34	2	

(注1) 学校推薦型選抜、総合型選抜及び特別選抜の募集人員については、それぞれの区分内の選抜又は他の区分の選抜の募集人員に欠員が出た場合、その欠員分を加えることができる。

(注2) 一般選抜の前期日程の募集人員については、学校推薦型選抜、総合型選抜及び特別選抜の募集人員に欠員が出た場合、その欠員分を加えることができる。

Ⅲ. 出願について

1 出願資格

次のいずれかに該当する者で、令和4年度大学入学共通テストのうち、本学が定める教科・科目（24～47ページ）を受験したものの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目のいずれかに該当するもの及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みのもの
ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
エ 文部科学大臣の指定した者
オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの

2 出願期間等

出 願 期 間 2022年1月24日（月）～2月4日（金）19時（必着）

- ※ インターネットによるマイページの登録や入学考査料の支払等は、2022年1月11日（火）9時から可能です。
- ※ 出願期間中、出願状況を本学ウェブサイト（<https://www.tmu.ac.jp/>）に掲載します。

出 願 方 法 インターネット出願

- ※ インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレット端末・プリンタがあれば、ご自宅・学校・インターネットカフェなどから出願できます。インターネット接続環境が整わず出願が困難な方は、本学アドミッション・センター（入試課）までご相談ください。

〈インターネット出願について〉

次の①～③の順序で、全ての手続を出願期間終了までに行ってください。

- ① インターネットにより、マイページの登録・顔写真の登録・出願登録をする。
- ② 入学考査料を支払う。
- ③ インターネットから志願票等を印刷し、調査書等の必要書類と一緒に郵送する。
※ 必要書類は、入学考査料の支払完了後でないと印刷できません。

インターネット出願は、登録及び入学考査料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりません。
出願期間終了までに必要書類が到着するように、書留速達で郵送する必要があります。

インターネット出願の方法は、ガイダンスページを確認してください。

本学ウェブサイト トップページ ▶ 入試案内 ▶ 学部入試 ▶ インターネット出願 ▶ ガイダンスページ
<https://www.guide.52school.com/guidance/net-tmu/>

送 付 先 〒350-0299 坂戸郵便局留（埼玉県比企郡川島町八幡6丁目13-2 川島SC）
東京都立大学 出願受付センター

〈注意事項〉

郵送期間を考慮した上で、早めに出願してください。

- (1) 出願期間後に到着した出願書類は、どのような理由があっても受け付けません。必ず出願期間に間に合うように郵送してください。
- (2) 出願書類は、市販の角形2号封筒に、必要書類印刷画面から「封筒貼付用宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して、書留速達で郵送してください。モノクロ印刷でも受付可能ですが、その場合には、「速達」と「書留」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。
- (3) 宅配便、バイク便等での提出は受け付けません。また、いかなる場合も直接出願は認めません。
- (4) 出願書類に不備がある場合は、出願期間内に補正がなければ不受理となります。

3 出願書類一覧

出願に当たっては、次の表の書類を整えてください。

※ 本学ウェブサイト又はマイページから出力する書類は、白色A4縦の用紙に印刷してください。

書 類	提出該当者	摘 要
1 志願票	全員	必要事項入力後、必要書類印刷画面から印刷してください。 志願票のみ、入学考査料の支払前でも印刷できるので、支払前に、必ず内容を確認してください。
2 令和4共通テスト成績請求票	全員	大学入試センターから送付された共通テスト成績請求票は、前期日程志願者は「 <input type="checkbox"/> 国公立前期日程用」を、後期日程志願者は「 <input type="checkbox"/> 国公立後期日程用」を志願票の所定欄に貼ってください。再発行を受けた場合には、 <u>最新のもの</u> を提出してください。その際は、出願登録時に入力する大学入学共通テスト成績請求票番号も、 <u>最新のもの</u> を入力してください。
3 調査書	全員 ※調査書代替様式は右記(2)(3)(4)の書類を提出する志願者のみ	<p>(1) 出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ※ 留学に係る評定を記載できない場合は、外国の高等学校の発行する成績や在籍、科目履修に関する証明書又はその写し（高等学校長が原本と相違ないことを証明したもの）を添付してください。</p> <p>(2) 高等学校卒業程度認定試験合格者（見込みを含む。）及び大学入学資格検定合格者は、その合格成績証明書（合格見込成績証明書を含む。）をもって調査書に代えることができます。</p> <p>(3) その他、文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格取得者等）、文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を修了した者等については、それぞれの出願資格に該当する成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>(4) 卒業後、年数が経過している等の理由で調査書が発行されない場合は、卒業証明書と単位修得証明書を提出してください。 なお、単位修得証明書が提出できない場合は、単位修得証明書が発行できないことを証明する学校長名の「不発行証明書（発行できない旨の文書）」等を卒業証明書とともに提出してください。 ※ 調査書等は、発行日が2021年4月1日以降のものを提出してください。 ※ (2)(3)(4)の書類を提出する者は、「調査書代替様式」を併せて提出してください（厳封は不要）。「調査書代替様式」は、必ず日本語で記入してください。様式は本学ウェブサイトからダウンロードできます。 手書きで記入する場合は黒ボールペンで記入してください（鉛筆・シャープペンシルは不可）。未記入の項目があった場合でも不備とはなりません。記入の際は、本学ウェブサイトに掲載されている記入例を参照してください。</p> <p>(5) 被災等の理由により調査書等の入手が難しい場合は、早めに本学アドミッション・センター（入試課）まで問い合わせてください。</p> <p>(6) 本学の前期・後期日程を併願する場合、調査書等は各日程につき1通ずつ必要です。</p> <p>(7) 調査書等に記載されている姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）を併せて提出してください。</p>
4 面接カード	健康福祉学部志願者のみ	本学ウェブサイトから印刷してください。 黒ボールペンで記入してください（鉛筆・シャープペンシルは不可）。記入の際は、面接カードの記入方法を参照してください。

4 出願上の注意

出願に当たっては、まず、出願資格（12ページ）を満たしているか確認してください。その上で、次の事項に注意してください。

- (1) 国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等を除く。以下同じ。）志願者は、前期日程の大学・学部等から1つ、後期日程の大学・学部等から1つ、公立大学中期日程の大学・学部等から1つの合計3つの大学・学部等に出願することができます。ただし、本学の前期日程で入学手続を行った者は、後期日程、公立大学中期日程の合格対象者とはなりません。本学の後期日程で入学手続を行った者は、それ以降、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。詳細については「Ⅷ. 入学手続の方法 3 注意事項」（48ページ）を参照してください。
 - ※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等については、公立大学協会ウェブサイト（<http://www.kodaikyo.org/>）を確認してください。
- (2) 前期日程では、前期日程グループに、後期日程では、後期日程グループに属する他の国公立大学との併願はできません。
- (3) 国公立大学の学校推薦型選抜、総合型選抜等合格者（出願後、合格が判明した者を含む。）は、個別学力検査（第2次学力試験）を受験することができません。たとえ受験しても、合格対象者とはなりません。
 - ただし、当該大学に入学辞退の申出を行い、許可された場合は、この限りではありません。
- (4) 本学の前期日程と後期日程の学内併願では、その組合せについて制限はありません。
- (5) 出願書類を受理した後、出願資格（12ページ）に該当しないことが判明した場合は、出願無資格者となります。
- (6) 出願書類を受理した後は、志願する日程・学部学科及び選択科目を変更することはできません。
- (7) 出願書類を受理した後は、いかなる場合も出願書類の差替え等変更をすることはできません。
- (8) 出願書類を受理した後は、提出した出願書類は返還しません。
- (9) 出願書類を受理した後、翌日以降にマイページ上に受理番号が表示されます。出願時に登録したメールアドレス宛にその旨を通知します。受理番号は、第1次選抜結果発表の際の番号になります。「封筒貼付宛名ラベル」に記載の住所に書留速達郵便が届いた後、3日程度経っても受理番号が表示されない場合は、本学アドミッション・センター（入試課）に連絡してください。なお、郵便の配達状況は郵便追跡サービスで確認できます。
- (10) 出願手続等に不正があった場合は、入学後であっても、入学許可を取り消します。
- (11) 受験上及び修学上の配慮を希望する者（日常生活において補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している者や、病気・負傷や障がい等により、マスクを着用することが困難で、マスクを着用せずに受験することを希望する者を含む。）は、必ず本学アドミッション・センター（入試課）に相談してください。詳細については16ページを参照してください。
- (12) 現在、大学に在籍している者（2022年3月までに卒業見込みの者を除く。）は、本学の学籍が発生するまでに、在学中の大学の退学手続を完了させてください。入学手続を終えると、4月1日から本学に在籍することとなり、学籍が発生します。

5 受験上及び修学上の配慮を希望する者の出願について

下表に該当する者で、受験上及び修学上の配慮を希望するものは、事前に本学アドミッション・センター（入試課）に必ず相談してください。

また、事前協議に必要な「第2次学力試験等出願にかかる協議申出書」（以下「申出書」という。相談後、本学アドミッション・センター（入試課）から送付します。）は2021年12月15日（水）17時までに、本学アドミッション・センター（入試課）へ提出してください。上記期限までに相談及び「申出書」の提出が無かった場合は、ご希望に沿えないこともありますので、十分注意してください。

日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を持参しようとする場合も上記期限までに申出が必要となりますので、注意してください。

聴覚に障がいがあり、電話による相談が難しい場合は（言語障がいにより電話が難しい者を含む。）、本学アドミッション・センター（入試課）のメールアドレスにご連絡ください（最終ページ参照）。

期限後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）により受験上及び修学上の配慮を希望する者は、本学アドミッション・センター（入試課）に必ず相談してください。ただし、申出が試験直前であったり、申出の内容への対応が直ちにできないような場合は、ご希望に沿えないこともあります。

また、点字による解答を希望する場合等、内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

区 分	対象となる者
〔ア〕 視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの ・視力以外の視機能障がいが高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
〔イ〕 聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
〔ウ〕 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障がい著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
〔エ〕 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
〔オ〕 発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・学習障がい、注意欠陥多動性障がい、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい等のため配慮を必要とする者
〔カ〕 そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・〔ア〕～〔オ〕の区分以外の者で配慮を必要とするもの

IV. 入学考査料の支払について

- (1) クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM（ペイジー）又はインターネットバンキングでの支払となります（受付時間は支払を行う施設の営業時間等により異なります）。詳細はガイダンスページをご覧ください。
- (2) 支払期限は2022年2月4日（金）までです。ただし、支払が完了しても、2022年2月4日（金）19時までに出願書類が「封筒貼付用宛名ラベル」に記載の住所に到着していなければ、出願は認められません。
- (3) 出願に必要な料金は以下のとおりです。

入学考査料	17,000円
手数料	700円
- (4) 第1次選抜の不合格者及び大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者に対しては、支払った入学考査料の一部（13,000円）を返還します。該当者に対しては、第1次選抜結果通知の際、返還方法等を記載した書類をマイページ上に表示します。
- (5) 上記(4)に該当しない（失格者を含む。）場合、出願を受理した後は、いかなる場合も入学考査料は返還しませんので、出願について十分に検討した上で支払を行ってください。
- (6) 自然災害被災者に対する入学考査料免除制度を設けています。詳細は、本学ウェブサイトをご確認ください。
 - トップページ ▶ 入試案内 ▶ 学部入試 ▶ 学部入試概要
 - ▶ 自然災害被災者に対する入学考査料の免除について（2022年度学部入試）

<https://www.tmu.ac.jp/entrance/faculty/outline/15374.html>

※ 入学考査料を支払ったが出願しなかった場合、又は入学考査料を誤って二重に支払った場合は入学考査料返還申請ができます。

詳細は、本学ウェブサイトをご確認ください。

トップページ ▶ 入試案内 ▶ 学部入試 ▶ 入学考査料・入学料・授業料

https://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html

- 入学考査料返還に関する問合せ先は最終ページを確認してください。

V. 選抜方式

入学者の選抜は、分離分割方式により前期日程と後期日程に分けて行い、各日程でそれぞれ合格者を決定します。

Ⅵ. 選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜と第2次選抜に分けて実施します。

前期日程

1 第1次選抜

大学入学共通テストの成績により、次のとおり行います。配点は、24～46ページのとおりです。

- (1) 人文社会学部、法学部、理学部、都市環境学部（都市政策科学科を除く。）及びシステムデザイン学部は学科別に選抜を行い、その募集人員の約6倍を合格者数とします。
- (2) 経済経営学部及び都市環境学部 都市政策科学科は入試区分別に選抜を行い、その募集人員の約6倍を合格者数とします。
- (3) 健康福祉学部は学科別に選抜を行い、その募集人員の約5倍を合格者数とします。

2 第1次選抜結果の発表

発表日時 2022年2月11日（金）正午

発表方法 本学ウェブサイト（<https://www.tmu.ac.jp/>）に合格者の受理番号を掲載します。掲載期間は1週間程度です。

合格者には、マイページ上のSTEP3に第2次学力試験の「受験票」及び「受験者心得」等を表示し、これを合格通知に代えます。「受験票」は、白色A4縦の用紙に印刷し、試験当日に必ず持参してください。不合格者及び出願無資格者には、マイページ上のSTEP3に入学考査料の一部（13,000円）の返還に関する書類を表示し、これを不合格通知・出願無資格通知に代えます。

なお、「受験票」等がマイページ上に表示されるまでに、発表日時から最大1時間程度の時間がかかることがあります。2月11日（金）に表示されなかった場合や記載に誤りがある場合は、本学アドミッション・センター（入試課）まで電話で問い合わせてください。

3 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して、個別学力検査（第2次学力試験）を行います。配点は、24～46ページのとおりです。

- (1) **試験場** 南大沢キャンパス（試験場への交通案内（52ページ）参照）
- (2) **試験科目** 24～46ページ参照。47ページの注意事項もあわせて確認してください。
- (3) **学力試験時間割**

人文社会学部 人間社会学科、人文学科

試験日時		教科等
2月25日（金）	9：30～11：00	国語
	12：30～14：00	地理歴史 又は 数学
	15：00～16：30	小論文

法学部 法学科

試験日時		教科等
2月25日（金）	9：30～11：00	国語
	12：30～14：00	地理歴史 又は 数学

経済経営学部 経済経営学科【一般区分】

試験日時		教科等
2月25日（金）	9：30～11：00	国語
	12：30～14：00	地理歴史 又は 数学

経済経営学部 経済経営学科【数理区分】

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学

理学部 数理科学科

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学
	12：45～15：15	理科及び数学（数理科学科用数学）

理学部 物理学科、化学科、生命科学科

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学
	12：45～15：15	理科（2科目）

都市環境学部 都市政策科学科【文系区分】

試験日時		教科等
2月25日（金）	9：30～11：00	国語
	12：30～14：00	地理歴史又は数学

都市環境学部 地理環境学科

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学
	12：45～15：15	地理歴史（地理）・理科（注） （上記教科から2科目）

（注）「地理B」及び「地学基礎・地学」は同時に選択できない。32ページを確認すること。

都市環境学部 都市基盤環境学科、建築学科、環境応用化学科

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学
	12：45～14：00	理科

都市環境学部 観光科学科、都市政策科学科【理系区分】

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学
	12：45～14：00	地理歴史（地理）又は理科

システムデザイン学部 情報科学科、電子情報システム工学科、機械システム工学科、航空宇宙システム工学科

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学
	12：45～14：00	理科

システムデザイン学部 インダストリアルアート学科

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学
	12：45～15：15	造形表現（注）

（注）造形表現については、47ページの注意事項(7)を確認すること。

健康福祉学部 看護学科、理学療法学科、作業療法学科

試験日時		教科等
2月26日（土）	9：40～	面接（口頭試問を含む。）

健康福祉学部 放射線学科

試験日時		教科等
2月26日（土）	10：00～11：15	数学
	11：15～	面接（口頭試問を含む。）

(4) 受験に当たっての注意

ア 受験の際は、第2次学力試験の「受験票」と「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参してください。なお、大学入学共通テスト受験票を紛失、汚損した場合は、大学入試センターで再発行を受けてください。

イ 個別学力検査（第2次学力試験）受験者は、「受験者心得」をあらかじめよく読んでおいてください。

〈最終合格者の決定〉

大学入学共通テストの成績、個別学力検査（第2次学力試験）の成績、面接の結果及び調査書等により判断し、最終合格者を決定します。ただし、大学入学共通テストのうち1教科又は個別学力検査（第2次学力試験）のうち1科目でも0点がある場合は、合格しないことがあります。

4 最終合格者の発表

(1) 合格者の発表

発表日時 2022年3月8日（火）正午

発表方法 本学ウェブサイト（<https://www.tmu.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は発表日時から3日間程度です。

〈注意事項〉

ア 本学への電話・郵便等による合否に関する問合せには一切応じません。

イ 上記の発表方法以外の取扱いは行っていません。試験当日、学外で呼び込む者がいても、本学とは関係ありませんので注意してください。

(2) 合格通知書及び入学手続書類の郵送

合格者全員に対して、合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

なお、合格通知書等が、3月10日（木）までに到着しなかった場合は、3月11日（金）に本学アドミッション・センター（入試課）まで電話で問い合わせてください。

※ 選抜結果の通知や書類は全て志願票に記載された住所へ郵送します。住所が変更になった場合は、転居後速やかに本学アドミッション・センター（入試課）まで連絡するとともに、郵便局に転居届を提出してください。

後期日程

1 第1次選抜

大学入学共通テストの成績により、学部学科別に選抜を行います。配点は、24～46ページのとおりです。

- (1) 人文社会学部、法学部、経済経営学部、理学部、都市環境学部及びシステムデザイン学部は学科別に選抜を行い、その募集人員の約14倍を合格者数とします。
- (2) 健康福祉学部は学科別に選抜を行い、その募集人員の約30倍を合格者数とします。

2 第1次選抜結果の発表

発表日時 2022年2月11日（金）正午

発表方法 本学ウェブサイト（<https://www.tmu.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は1週間程度です。

合格者には、マイページ上のSTEP3に第2次学力試験の「受験票」及び「受験者心得」等を表示し、これを合格通知に代えます。「受験票」は、白色A4縦の用紙に印刷し、試験当日に必ず持参してください。不合格者及び出願無資格者には、マイページ上のSTEP3に入学考査料の一部（13,000円）の返還に関する書類を表示し、これを不合格通知・出願無資格通知に代えます。

なお、「受験票」等がマイページ上に表示されるまでに、発表日時から最大1時間程度の時間がかかることがあります。2月11日（金）に表示されなかった場合や記載に誤りがある場合は、本学アドミッション・センター（入試課）まで電話で問い合わせてください。

3 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して、個別学力検査（第2次学力試験）を行います。配点は、24～46ページのとおりです。

- (1) **試験場** 南大沢キャンパス（試験場への交通案内（52ページ）参照）
- (2) **試験科目** 24～46ページ参照。47ページの注意事項もあわせて確認してください。
- (3) **学力試験時間割**

人文社会学部 人間社会学科 ※人文学科は後期日程において個別学力検査は実施しません。

試験日時		教科等
3月12日（土）	9：30～11：00	小論文

法学部 法学科

試験日時		教科等
3月12日（土）	9：30～11：00	小論文

経済経営学部 経済経営学科

試験日時		教科等
3月12日（土）	9：30～11：00	小論文

理学部 数理科学科

試験日時		教科等
3月12日（土）	9：30～11：30	数学

理学部 物理学科

試験日時		教科等
3月12日（土）	9：30～11：30	理科（物理）

理学部 化学科

試験日時		教科等
3月12日（土）	9：30～11：30	数学及び理科（物理、化学）

理学部 生命科学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:30～11:30	小論文

都市環境学部 地理環境学科、観光科学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:30～11:30	小論文

都市環境学部 都市基盤環境学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:30～11:30	数学

都市環境学部 建築学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:30～10:30	数学及び理科(物理)

都市環境学部 環境応用化学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:30～10:30	理科(化学)

都市環境学部 都市政策科学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:30～11:00	小論文

システムデザイン学部 情報科学科、電子情報システム工学科、機械システム工学科、航空宇宙システム工学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:30～11:30	数学

システムデザイン学部 インダストリアルアート学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:30～11:30	数学
	13:00～14:15	造形表現(注)

(注) 造形表現については、47ページの注意事項(7)を確認すること。

健康福祉学部 看護学科、理学療法学科、作業療法学科、放射線学科

試験日時		教科等
3月12日(土)	9:10～	面接(口頭試問を含む。)

(4) 受験に当たっての注意

ア 受験の際は、第2次学力試験の「受験票」と「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参してください。なお、大学入学共通テスト受験票を紛失、汚損した場合は、大学入試センターで再発行を受けてください。

イ 個別学力検査(第2次学力試験)受験者は、「受験者心得」をあらかじめよく読んでおいてください。

〈最終合格者の決定〉

大学入学共通テストの成績、個別学力検査(第2次学力試験)の成績、面接の結果及び調査書等により判断し、最終合格者を決定します。ただし、大学入学共通テストのうち1教科又は個別学力検査(第2次学力試験)のうち1科目でも0点がある場合は、合格しないことがあります。

4 最終合格者の発表

(1) 合格者の発表

発表日時 2022年3月21日（月）正午

発表方法 本学ウェブサイト（<https://www.tmu.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は発表日時から3日間程度です。

〈注意事項〉

ア 本学への電話・郵便等による合否に関する問合せには一切応じません。

イ 上記の発表方法以外の取扱いは行っていません。試験当日、学外で呼び込む者がいても、本学とは関係ありませんので注意してください。

(2) 合格通知書及び入学手続書類の郵送

合格者全員に対して、合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

なお、合格通知書等が、3月23日（水）までに到着しなかった場合は、3月24日（木）10時までに本学アドミッション・センター（入試課）まで電話で問い合わせてください。

※ 選抜結果の通知や書類は全て志願票に記載された住所へ郵送します。住所が変更になった場合は、転居後速やかに本学アドミッション・センター（入試課）まで連絡するとともに、郵便局に転居届を提出してください。

Ⅶ. 入学者選抜の実施教科・科目等

人文社会学部 人間社会学科 (前期日程試験)		配点計1,260点	
大学入学共通テスト		配点800点	
国語	『国語』	100	
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	から1科目選択 又は2科目選択* ¹	
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」		* ² ★100 ★100
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	から1科目選択 又は2科目選択* ¹	
数学②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』		* ² ★100 ★100
理科	①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	①から2科目選択 又は②から1科目選択* ³	①50, 50 又は②100
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	300 〔英語〕配点内訳 リーディング 240 リスニング 60	
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点450点	
国語	[国語]	150	
地理歴史	[世界史B]、[日本史B]、[地理B]	から1科目選択	
数学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B]		200
その他	[小論文] ※日本語の文章や資料などを読み、論述を行う。	100	
調査書等		配点10点	

※1 地理歴史・公民と数学から計3科目選択。

地理歴史・公民の第1解答科目を採用し、地理歴史・公民の第2解答科目と数学から得点の高い順に2科目を採用する。
ただし、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」から2科目選択しても1科目しか採用しない。

※2 配点に★印を付してある教科は3科目選択を表す。

※3 指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

人文社会学部 人間社会学科 (後期日程試験)		配点計1,210点	
大学入学共通テスト		配点1,000点	
国語	『国語』	200	
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	から2科目選択* ¹	
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」		100
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	100	
数学②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』 から1科目選択	100	
理科	①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	①から2科目選択 又は②から1科目選択* ²	①50, 50 又は②100
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	300 〔英語〕配点内訳 リーディング 240 リスニング 60	
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点200点	
その他	[小論文] ※英語の短い論説文などを読み、内容を要約し、内容に関する自分の意見を述べる。 ※要約と意見は日本語で記す。	200	
調査書等		配点10点	

※1 地理歴史・公民から計2科目選択。

ただし、「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1科目以上を選択すること。

※2 指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

人文社会学部 人文学科 (前期日程試験)		配点計1,260点	
大学入学共通テスト		配点800点	
国語	『国語』	100	
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	から1科目選択 又は2科目選択* ¹	
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理, 政治・経済』		* ² ★100 ★100
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	から1科目選択 又は2科目選択* ¹	
数学②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』		* ² ★100 ★100
理科	①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	①から2科目選択 又は②から1科目選択* ³	①50, 50 又は②100
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	300 〔英語〕配点内訳 リーディング 240 リスニング 60	
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点450点	
国語	[国語]	150	
地理歴史	[世界史B]、[日本史B]、[地理B]	から1科目選択	
数学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B]		200
その他	[小論文] ※日本語の文章や資料などを読み、論述を行う。	100	
調査書等		配点10点	

- ※1 地理歴史・公民と数学から計3科目選択。
地理歴史・公民の第1解答科目を採用し、地理歴史・公民の第2解答科目と数学から得点の高い順に2科目を採用する。
ただし、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理, 政治・経済』から2科目選択しても1科目しか採用しない。
- ※2 配点に★印を付してある教科は3科目選択を表す。
- ※3 指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

人文社会学部 人文学科 (後期日程試験)		配点計1,010点	
大学入学共通テスト		配点1,000点	
国語	『国語』	200	
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	から2科目選択* ¹	
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理, 政治・経済』		100
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	100	
数学②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』 から1科目選択	100	
理科	①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	①から2科目選択 又は②から1科目選択* ²	①50, 50 又は②100
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	300 〔英語〕配点内訳 リーディング 240 リスニング 60	
個別学力検査 (第2次学力試験)		—	
※個別学力検査は実施しない。		—	
調査書等		配点10点	

- ※1 地理歴史・公民から計2科目選択。
ただし、「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1科目以上を選択すること。
- ※2 指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

法学部 法学科 (前期日程試験)

配点計1,060点

大学入学共通テスト		配点750点
国 語	『国語』	200
地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	200
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	
		から1科目選択*1*2
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	350 〔英語〕配点内訳 リーディング 280 リスニング 70
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点300点
国 語	[国語]	150
地理歴史	[世界史B]、[日本史B]、[地理B]	150
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B]	
		から1科目選択
調査書等		配点10点

※1 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※2 指定した科目数を超過して受験した場合は、地理歴史・公民の第1解答科目と数学から得点の高い科目を採用する。

法学部 法学科 (後期日程試験)

配点計710点

大学入学共通テスト		配点500点
国 語	『国語』	100
地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	50
公 民	『倫理、政治・経済』	
		から2科目選択
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』 から1科目選択	50
理 科	①『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』、『地学基礎』 ②『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	①から2科目選択 又は②から1科目選択*
		①25, 25 又は②50
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	150 〔英語〕配点内訳 リーディング 120 リスニング 30
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点200点
そ の 他	[小論文]	200
調査書等		配点10点

※ 指定した科目数を超過、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

経済経営学部 経済経営学科【一般区分】(前期日程試験)		配点計1,110点
大学入学共通テスト		配点600点
国 語	『国語』	100
地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』 } から2科目選択	50
公 民		『倫理, 政治・経済』
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』 から1科目選択	50
理 科	①『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』、『地学基礎』 } ①から2科目選択 ②『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 } 又は②から1科目選択*	①25, 25 又は②50
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	250 〔英語〕配点内訳 リーディング 200 リスニング 50
個別学力検査(第2次学力試験)		配点500点
国 語	[国語]	250
地理歴史	[世界史B]、[日本史B]、[地理B] } から1科目選択	250
数 学		
調査書等		配点10点

※ 指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

経済経営学部 経済経営学科【数理区分】(前期日程試験)		配点計1,110点
大学入学共通テスト		配点600点
国 語	『国語』	100
地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』 } から1科目選択* ¹	75
公 民		
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』 から1科目選択	50
理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から1科目選択* ²	75
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	250 〔英語〕配点内訳 リーディング 200 リスニング 50
個別学力検査(第2次学力試験)		配点500点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	500
調査書等		配点10点

※¹ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※² 理科は第1解答科目を採用する。

経済経営学部 経済経営学科(後期日程試験)		配点計1,260点
大学入学共通テスト		配点1,100点
国 語	『国語』	200
地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』 } から2科目選択	100
公 民		『倫理, 政治・経済』
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	200
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』 から1科目選択	200
理 科	①『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』、『地学基礎』 } ①から2科目選択 ②『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 } 又は②から1科目選択*	①50, 50 又は②100
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査(第2次学力試験)		配点150点
そ の 他	[小論文]	150
調査書等		配点10点

※ 指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

理学部 数理科学科 (前期日程試験)

配点計1,155点

大学入学共通テスト		配点550点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択※ ¹
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2科目選択	50
		50
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	200 〔『英語』 配点内訳〕 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点600点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ] ※ ²	400
理 科	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、	} から1科目選択
	[生物基礎・生物]、[地学基礎・地学]	
調査書等		配点5点

※¹ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※² 共通の問題及び数理科学科のみの問題を解答する。

理学部 数理科学科 (後期日程試験)

配点計1,155点

大学入学共通テスト		配点750点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択※
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2科目選択	100
		100
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	200 〔『英語』 配点内訳〕 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点400点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	400
調査書等		配点5点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

理学部 物理学科 (前期日程試験)		配点計1,155点
大学入学共通テスト		配点550点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 } から1科目選択*	50
公 民		
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」	50
	「化学」、「生物」、「地学」 から1科目選択	50
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	200 〔『英語』 配点内訳〕 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点600点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
理 科	[物理基礎・物理]	200
	[化学基礎・化学]、[生物基礎・生物]、[地学基礎・地学] から1科目選択	200
調査書等		配点5点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

理学部 物理学科 (後期日程試験)		配点計1,155点
大学入学共通テスト		配点750点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 } から1科目選択*	50
公 民		
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理 科	「物理」	100
	「化学」、「生物」、「地学」 から1科目選択	100
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	200 〔『英語』 配点内訳〕 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点400点
理 科	[物理基礎・物理]	400
調査書等		配点5点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

理学部 化学科 (前期日程試験)		配点計1,155点
大学入学共通テスト		配点550点
国語	『国語』	100
地理歴史	『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』、『日本史B』、『地理A』、『地理B』	} から1科目選択*
公民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理, 政治・経済』	
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2科目選択	50
		50
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	200 〔『英語』配点内訳〕 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点600点
数学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
理科	[化学基礎・化学]	200
	[物理基礎・物理]、[生物基礎・生物]、[地学基礎・地学] から1科目選択	200
調査書等		配点5点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

理学部 化学科 (後期日程試験)		配点計1,155点
大学入学共通テスト		配点750点
国語	『国語』	100
地理歴史	『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』、『日本史B』、『地理A』、『地理B』	} から1科目選択*
公民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理, 政治・経済』	
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2科目選択	100
		100
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	200 〔『英語』配点内訳〕 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点400点
数学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	100
理科	[物理基礎・物理]	100
	[化学基礎・化学]	200
調査書等		配点5点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

理学部 生命科学科 (前期日程試験)		配点計1,155点
大学入学共通テスト		配点550点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2科目選択	50
		50
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点600点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
理 科	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、	} から2科目選択
	[生物基礎・生物]、[地学基礎・地学]	
調査書等		配点5点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

理学部 生命科学科 (後期日程試験)		配点計1,155点
大学入学共通テスト		配点750点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2科目選択	100
		100
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目選択	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点400点
そ の 他	[小論文]	400
調査書等		配点5点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

都市環境学部 地理環境学科 (前期日程試験)		配点計1,070点
大学入学共通テスト		配点600点
国 語	『国語』	100
地理歴史	『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』、『日本史B』、『地理A』、『地理B』	} から1科目選択* ¹
公 民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理, 政治・経済』	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2科目選択	50
		50
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	250 〔『英語』配点内訳〕 リーディング 200 リスニング 50
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点450点
地理歴史	[地理B]	} から2科目選択* ²
理 科	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、	
	[生物基礎・生物]、[地学基礎・地学]	
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	150
調査書等		配点20点

※1 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※2 [地理B] 及び [地学基礎・地学] は同時に選択できない。

都市環境学部 地理環境学科 (後期日程試験)		配点計1,070点
大学入学共通テスト		配点750点
国 語	『国語』	100
地理歴史	『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』、『日本史B』、『地理A』、『地理B』	} から1科目選択*
公 民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理, 政治・経済』	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2科目選択	100
		100
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	250 〔『英語』配点内訳〕 リーディング 200 リスニング 50
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点300点
そ の 他	[小論文]	300
調査書等		配点20点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

都市環境学部 都市基盤環境学科 (前期日程試験)		配点計1,500点
大学入学共通テスト		配点1,050点
国 語	『国語』	150
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	150
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	150
理 科	「物理」	150
	「化学」	150
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	300 〔『英語』 配点内訳〕 リーディング 150 リスニング 150
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点400点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
理 科	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学] から1科目選択	200
調査書等		配点50点

都市環境学部 都市基盤環境学科 (後期日程試験)		配点計820点
大学入学共通テスト		配点600点
国 語	『国語』	100
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理 科	「物理」	100
	「化学」	100
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	100 〔『英語』 配点内訳〕 リーディング 50 リスニング 50
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点200点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
調査書等		配点20点

都市環境学部 建築学科 (前期日程試験)		配点計1,020点
大学入学共通テスト		配点600点
国 語	『国語』	100
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」、「化学」 から1科目選択*	100
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	300 〔英語〕配点内訳 リーディング 200 リスニング 100
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点400点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
理 科	[物理基礎・物理]	200
調査書等		配点20点

※ 理科は第1解答科目を採用する。

都市環境学部 建築学科 (後期日程試験)		配点計1,070点
大学入学共通テスト		配点450点
国 語	『国語』	100
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」、「化学」 から1科目選択*	100
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	150 〔英語〕配点内訳 リーディング 100 リスニング 50
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点600点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	300
理 科	[物理基礎・物理]	300
調査書等		配点20点

※ 理科は第1解答科目を採用する。

都市環境学部 環境応用化学科 (前期日程試験)		配点計1,000点
大学入学共通テスト		配点480点
国 語	『国語』	80
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2科目選択	50 50
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点500点
教 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
理 科	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学] から1科目選択	300
調査書等		配点20点

都市環境学部 環境応用化学科 (後期日程試験)		配点計1,000点
大学入学共通テスト		配点630点
国 語	『国語』	50
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2科目選択	75 75
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	230 〔英語〕配点内訳 リーディング 184 リスニング 46
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点350点
理 科	[化学基礎・化学]	350
調査書等		配点20点

都市環境学部 観光科学科（前期日程試験）

配点計1,020点

大学入学共通テスト		配点600点
国語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2科目選択	50
		50
外国語	『英語』	250 〔英語〕配点内訳 リーディング 150 リスニング 100
個別学力検査（第2次学力試験）		配点400点
地理歴史	[地理B]	} から1科目選択
理科	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、 [生物基礎・生物]、[地学基礎・地学]	
	数学	
調査書等		配点20点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

都市環境学部 観光科学科（後期日程試験）

配点計1,020点

大学入学共通テスト		配点500点
国語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択* ¹
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1科目選択* ²	50
外国語	『英語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 150 リスニング 50
個別学力検査（第2次学力試験）		配点500点
その他	[小論文]	500
調査書等		配点20点

※¹ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※² 理科は第1解答科目を採用する。

都市環境学部 都市政策科学科【文系区分】(前期日程試験)		配点計970点
大学入学共通テスト		配点650点
国語	『国語』	100
地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』 } から2科目選択	50
公民		『倫理, 政治・経済』
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数学②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』 から1科目選択	50
理科	①『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』、『地学基礎』 } ①から2科目選択 ②『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 } 又は②から1科目選択*	①25, 25 又は②50
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	300 〔英語〕配点内訳 リーディング 250 リスニング 50
個別学力検査(第2次学力試験)		配点300点
国語	[国語]	150
地理歴史	[世界史B]、[日本史B]、[地理B] } から1科目選択	150
数学		
調査書等		配点20点

※ 指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

都市環境学部 都市政策科学科【理系区分】(前期日程試験)		配点計1,020点
大学入学共通テスト		配点700点
国語	『国語』	100
地理歴史	『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』、『日本史B』、『地理A』、『地理B』 } から1科目選択*	50
公民		
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2科目選択	50
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	350 〔英語〕配点内訳 リーディング 300 リスニング 50
個別学力検査(第2次学力試験)		配点300点
地理歴史	[地理B]	100
理科	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、 [生物基礎・生物]、[地学基礎・地学] } から1科目選択	
数学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
調査書等		配点20点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

都市環境学部 都市政策科学科(後期日程試験)		配点計1,320点
大学入学共通テスト		配点1,000点
国語	『国語』	200
地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』 } から2科目選択	100
公民		『倫理, 政治・経済』
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数学②	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』 から1科目選択	100
理科	①『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』、『地学基礎』 } ①から2科目選択 ②『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 } 又は②から1科目選択*	①50, 50 又は②100
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』 から1科目選択	300 〔英語〕配点内訳 リーディング 250 リスニング 50
個別学力検査(第2次学力試験)		配点300点
その他	[小論文]	300
調査書等		配点20点

※ 指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 情報科学科 (前期日程試験)		配点計935点
大学入学共通テスト		配点525点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*1
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択*2	50
外 国 語	『英語』	225 〔英語〕配点内訳 リーディング 180 リスニング 45
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点400点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
理 科	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、[生物基礎・生物] から1科目選択	200
調査書等		配点10点

※1 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※2 理科は第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 情報科学科 (後期日程試験)		配点計660点
大学入学共通テスト		配点450点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*1
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択*2	50
外 国 語	『英語』	150 〔英語〕配点内訳 リーディング 120 リスニング 30
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点200点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	200
調査書等		配点10点

※1 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※2 理科は第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 電子情報システム工学科 (前期日程試験)		配点計1,060点
大学入学共通テスト		配点550点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」	50
	「化学」、「生物」、「地学」 から1科目選択	50
外 国 語	『英語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点500点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	250
理 科	[物理基礎・物理]	250
調査書等		配点10点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 電子情報システム工学科 (後期日程試験)		配点計710点
大学入学共通テスト		配点450点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」	50
	「化学」、「生物」、「地学」 から1科目選択	50
外 国 語	『英語』	100 〔英語〕配点内訳 リーディング 80 リスニング 20
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点250点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	250
調査書等		配点10点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 機械システム工学科 (前期日程試験)

配点計1,060点

大学入学共通テスト		配点450点 ^{※2} 550点 ^{※3}
国語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択 ^{※1}
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」	
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理科	「物理」	50
	「化学」、「生物」 から1科目選択	50
外国語	『英語』	100 ^{※2} / 200 ^{※3} 〔英語〕配点内訳 リーディング 1次：80 / 2次：160 リスニング 1次：20 / 2次：40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点500点
数学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	250
理科	[物理基礎・物理]	250
調査書等		配点10点

※1 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※2 第1次選抜の際の配点を示す。

※3 第2次選抜の際の配点を示す。

システムデザイン学部 機械システム工学科 (後期日程試験)

配点計760点

大学入学共通テスト		配点450点
国語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択 [※]
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」	
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理科	「物理」	50
	「化学」、「生物」 から1科目選択	50
外国語	『英語』	100 〔英語〕配点内訳 リーディング 80 リスニング 20
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点300点
数学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	300
調査書等		配点10点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 航空宇宙システム工学科 (前期日程試験)		配点計1,060点
大学入学共通テスト		配点550点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」	50
	「化学」、「生物」、「地学」 から1科目選択	50
外 国 語	『英語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点500点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	250
理 科	[物理基礎・物理]	250
調査書等		配点10点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 航空宇宙システム工学科 (後期日程試験)		配点計860点
大学入学共通テスト		配点550点
国 語	『国語』	100
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目選択*
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理, 政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」	100
	「化学」、「生物」、「地学」 から1科目選択	50
外 国 語	『英語』	150 〔英語〕配点内訳 リーディング 120 リスニング 30
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点300点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	300
調査書等		配点10点

※ 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 インダストリアルアート学科 (前期日程試験)

配点計910点

大学入学共通テスト		配点600点
国 語	『国語』	100
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理 科	「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択*	100
外 国 語	『英語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点300点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	100
そ の 他	[造形表現]	200
調査書等		配点10点

※ 理科は第1解答科目を採用する。

システムデザイン学部 インダストリアルアート学科 (後期日程試験)

配点計610点

大学入学共通テスト		配点400点
国 語	『国語』	100
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択*	100
外 国 語	『英語』	100 〔英語〕配点内訳 リーディング 80 リスニング 20
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点200点
数 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	100
そ の 他	[造形表現]	100
調査書等		配点10点

※ 理科は第1解答科目を採用する。

健康福祉学部 看護学科 (前期日程試験)		配点計753点
大学入学共通テスト		配点700点
国 語	『国語』	100
理 科	①～④のいずれかを選択 ① 「物理」、「化学」、「生物」 から2科目選択 ② 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」 から2科目、及び「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択* ¹ ③ 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」 から2科目選択 ④ 「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択	200* ³
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	理科③④を選択した場合、1科目選択* ²
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
外 国 語	『英語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点50点
そ の 他	〔面接 (口頭試問を含む。)〕* ⁴	50
調査書等		配点3点

※1 理科②を選択した場合、同一名称を含む科目の採用は可能。

※2 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※3 配点の内訳は右表のとおり。

	理①	理②	理③	理④
理科	100	50, 50	50, 50	100
	100	100	—	—
地歴・公民	—	—	100	100

※4 筆記試験の成績に関わらず、面接試験の成績が一定の水準に達しない場合は不合格とする。

《地理歴史・公民及び理科の選択において、指定した科目数を超えて受験した場合》

採用する科目は、以下のとおりとする。

「理科の基礎を付した科目2科目」と「理科の基礎を付していない科目1科目」及び「地理歴史・公民」を受験した場合は、「理科の基礎を付した科目2科目」と「理科の基礎を付していない科目1科目」及び「地理歴史・公民の第1解答科目」から得点の高い順に採用する。「理科の基礎を付していない科目2科目」と「地理歴史・公民」を受験した場合は、「理科の第1解答科目」を採用し、「理科の第2解答科目」と「地理歴史・公民の第1解答科目」から得点の高い科目を採用する。

健康福祉学部 看護学科 (後期日程試験)		配点計605点
大学入学共通テスト		配点500点
国 語	『国語』	100
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	50
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	50
理 科	①又は②から選択 ① 「物理」、「化学」、「生物」 から2科目選択 ② 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」 から2科目、及び「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択* ¹	①50, 50 又は②25, 25, 50
外 国 語	『英語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点100点
そ の 他	〔面接 (口頭試問を含む。)〕* ²	100
調査書等		配点5点

※1 理科②を選択した場合、同一名称を含む科目の採用は可能。

※2 筆記試験の成績に関わらず、面接試験の成績が一定の水準に達しない場合は不合格とする。

健康福祉学部 理学療法学科 (前期日程試験)

配点計810点

大学入学共通テスト		配点700点
国語	『国語』	100
理科	①～④のいずれかを選択 ① 「物理」、「化学」、「生物」 から2科目選択 ② 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」 から2科目、及び「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択※ ¹ ③ 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」 から2科目選択 ④ 「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択	200※ ³
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	100
外国語	『英語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点100点
その他	〔面接 (口頭試問を含む。)〕 ※ ⁴	100
調査書等		配点10点

※¹ 理科②を選択した場合、同一名称を含む科目の採用は可能。

※² 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※³ 配点の内訳は右表のとおり。

	理①	理②	理③	理④
理科	100	50, 50	50, 50	100
	100	100	—	—
地歴・公民	—	—	100	100

※⁴ 筆記試験の成績に関わらず、面接試験の成績が一定の水準に達しない場合は不合格とする。

《地理歴史・公民及び理科の選択において、指定した科目数を超えて受験した場合》

採用する科目は、以下のとおりとする。

「理科の基礎を付した科目2科目」と「理科の基礎を付していない科目1科目」及び「地理歴史・公民」を受験した場合は、「理科の基礎を付した科目2科目」と「理科の基礎を付していない科目1科目」及び「地理歴史・公民の第1解答科目」から得点の高い順に採用する。「理科の基礎を付していない科目2科目」と「地理歴史・公民」を受験した場合は、「理科の第1解答科目」を採用し、「理科の第2解答科目」と「地理歴史・公民の第1解答科目」から得点の高い科目を採用する。

健康福祉学部 理学療法学科 (後期日程試験)

配点計510点

大学入学共通テスト		配点400点
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理科	「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択※ ¹	100
外国語	『英語』	100 〔英語〕配点内訳 リーディング 80 リスニング 20
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点100点
その他	〔面接 (口頭試問を含む。)〕 ※ ²	100
調査書等		配点10点

※¹ 理科は第1解答科目を採用する。

※² 筆記試験の成績に関わらず、面接試験の成績が一定の水準に達しない場合は不合格とする。

健康福祉学部 作業療法学科 (前期日程試験)		配点計878点
大学入学共通テスト		配点720点
国語	『国語』	100
理科	①～④のいずれかを選択 ①「物理」、「化学」、「生物」 から2科目選択 ②「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」 から2科目、及び「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択※ ¹ ③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」 から2科目選択 ④「物理」、「化学」、「生物」 から1科目選択	200※ ³
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	理科③④を選択した場合、1科目選択※ ²
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	100
外国語	『英語』	220 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 60
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点150点
その他	[面接 (口頭試問を含む。)] ※ ⁴	150
調査書等		配点8点

※¹ 理科②を選択した場合、同一名称を含む科目の採用は可能。

※² 地理歴史・公民は第1解答科目を採用する。

※³ 配点の内訳は右表のとおり。

	理①	理②	理③	理④
理科	100	50, 50	50, 50	100
	100	100	—	—
地歴・公民	—	—	100	100

※⁴ 筆記試験の成績に関わらず、面接試験の成績が一定の水準に達しない場合は不合格とする。

《地理歴史・公民及び理科の選択において、指定した科目数を超えて受験した場合》

採用する科目は、以下のとおりとする。

「理科の基礎を付した科目2科目」と「理科の基礎を付していない科目1科目」及び「地理歴史・公民」を受験した場合は、「理科の基礎を付した科目2科目」と「理科の基礎を付していない科目1科目」及び「地理歴史・公民の第1解答科目」から得点の高い順に採用する。「理科の基礎を付していない科目2科目」と「地理歴史・公民」を受験した場合は、「理科の第1解答科目」を採用し、「理科の第2解答科目」と「地理歴史・公民の第1解答科目」から得点の高い科目を採用する。

健康福祉学部 作業療法学科 (後期日程試験)		配点計646点
大学入学共通テスト		配点520点
数学①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数学②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理科	①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」 } ①から2科目選択 ②「物理」、「化学」、「生物」 } 又は②から1科目選択※ ¹	①50, 50 又は②100
外国語	『英語』	220 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 60
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点120点
その他	[面接 (口頭試問を含む。)] ※ ²	120
調査書等		配点6点

※¹ 理科の選択において、指定した科目数を超え、①から2科目と②から1科目を受験した場合は、①から2科目の合計得点と②から1科目の得点のうち高いものを採用する。②から2科目を受験した場合は、第1解答科目を採用する。

※² 筆記試験の成績に関わらず、面接試験の成績が一定の水準に達しない場合は不合格とする。

健康福祉学部 放射線学科 (前期日程試験)

配点計960点

大学入学共通テスト		配点700点
国 語	『国語』	100
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理 科	「物理」、「化学」、「生物」 から2科目選択	100 100
外 国 語	『英語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点250点
教 学	[数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲ]	100
そ の 他	[面接 (口頭試問を含む。)] *	150
調査書等		配点10点

※ 筆記試験の成績に関わらず、面接試験の成績が一定の水準に達しない場合は不合格とする。

健康福祉学部 放射線学科 (後期日程試験)

配点計655点

大学入学共通テスト		配点500点
数 学 ①	『数学Ⅰ・数学A』	100
数 学 ②	『数学Ⅱ・数学B』	100
理 科	「物理」、「化学」、「生物」 から2科目選択	100 100
外 国 語	『英語』	100 〔英語〕配点内訳 リーディング 80 リスニング 20
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点150点
そ の 他	[面接 (口頭試問を含む。)] *	150
調査書等		配点5点

※ 筆記試験の成績に関わらず、面接試験の成績が一定の水準に達しない場合は不合格とする。

注意事項

- (1) 大学入学共通テストにおいて、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択解答できる者は、高等学校、中等教育学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限る。
- (2) 大学入学共通テストにおいて、『国語』については、古典（古文、漢文）を含む。
- (3) 大学入学共通テストにおいて、外国語の『英語』については、リスニングを含む。
リスニングを受験しなかった場合には出願無資格者となる。
なお、障がい等により、リスニングの受験を免除することを大学入試センターが認めた場合は、出願無資格者としては取り扱わない。
- (4) 第2次学力試験（前期日程）における国語の範囲は、「国語総合」、「現代文B」、「古典B」とする。
- (5) 第2次学力試験（前期日程・後期日程）の数学における「数学B」の範囲は、数列、ベクトルとする。
- (6) 第2次学力試験（前期日程）における理学部 数理科学科の数学の試験は、次のように2つの時間帯に分けて行う。
 - ① 数学の試験時間帯には、経済経営学部 経済経営学科【数理区分】、理学部、都市環境学部、システムデザイン学部及び健康福祉学部共通の問題を解答する（75分）。
 - ② 理科及び数学の試験時間帯には、数理科学科のみの数学の問題（出題範囲は、①の数学と同じ）を、理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物又は地学基礎・地学から1科目選択）の問題と合わせて解答する（150分）。
- (7) インダストリアルアート学科の造形表現では、デッサン等を行う。試験当日の持ち物は、黒鉛筆各種、消しゴム又は練り消しゴム、擦筆、羽根ぼうき、鉛筆削り（電動式・ナイフ類は不可）、フィキサチーフ（定着液）とする。試験時にはボードを配付するため、クリップ2個以上又はマスキングテープ（クリップは目玉クリップ、バインダークリップ共に可）を持参すること。それ以外の持ち込みは不可とする。
- (8) 卒業後、年数が経過している等の理由で調査書が発行されない場合は、本学が指定する様式を提出することによって調査書の代替とする。

Ⅷ. 入学手続の方法

最終合格者は、合格通知書とともに送付する「入学手続案内」に従い、入学手続を行ってください。提出書類等の詳細は、「入学手続案内」に記載します。

1 入学手続期間

前期日程 2022年3月10日（木）～3月15日（火）（郵送必着）

後期日程 2022年3月23日（水）～3月27日（日）（郵送必着）

※ 後期日程の入学手続きは、3月27日（日）までですが、入学料の振込は3月25日（金）までなので、注意してください。

2 入学料及び授業料

入学料及び授業料については、本学ウェブサイトを確認してください。

トップページ ▶ 入試案内 ▶ 学部入試 ▶ 入学考査料・入学料・授業料

https://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html

入学料及び授業料については、減額又は免除（減免）の制度があります。

入学料減免に関する2022年度の実施の有無については、12月中旬頃に本学学生課ウェブサイト（<https://gs.tmu.ac.jp/exemption/>）に掲載します。

申請を希望する者は、本学学生課ウェブサイトより申請方法を確認し、期日までに申請してください。

高校等で日本学生支援機構給付型奨学金の手続きをし、予約採用候補者となった者は、入学料減免の対象です。忘れずに申請をしてください。

授業料減免の実施については、合格者発表以降に送付する「入学手続案内」をご覧ください。

3 注意事項

- (1) 入学手続に大学入学共通テスト受験票が必要となりますので、第2次学力試験後も保管しておいてください。
 - (2) 入学手続についての情報は変更となる可能性があります。詳細は、試験当日に配付する「入学手続の概要」、合格通知書とともに送付する「入学手続案内」をよく読んでください。
 - (3) 入学手続書類に不備がある時は受理しない場合があります。手続期間を考慮した上で、早めに手続をしてください。
 - (4) 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。
 - (5) 本学の前期日程及び後期日程で入学手続を行った場合、それ以降、他の国公立大学の合格対象者とはなりません。
 - (6) 本学及び他の国公立大学で既に入学手続を行っている者は、本学の前期日程及び後期日程の合格対象者とはなりません。
 - (7) 入学手続完了後は、入学料は返還しません。
 - (8) 入学手続が完了した者には、出願時に登録したメールアドレス宛に入学手続完了通知を送付します。
- 入学手続、入学料及び授業料の減免に関する問合せ先は最終ページを確認してください。

Ⅸ. 追加合格

入学手続期間終了後、各募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格を行うことがあります。

追加合格者に対しては、3月28日（月）8時から17時までの間に、順次、志願票に記載された電話番号に連絡します。なお、3月28日（月）に連絡が完了しない場合は、3月29日（火）8時から17時までの間に連絡します。

電話連絡に際し、入学の意思を確認しますので、本人又は保護者等、入学するか否かを明確に回答できる者が電話に出られるようにしておいてください。当該者への最初の連絡から2時間以内に連絡がつかない場合は、候補者から除外され、次位の候補者へ連絡を行います。

また、追加合格を行わない場合に限り、3月28日（月）8時までに、その旨を本学ウェブサイト（<https://www.tmu.ac.jp/>）に掲載します。

X. その他

個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について法令に基づき取り扱いますので、予めご了承ください。詳細について、出願前に必ずガイダンスページを確認してください。

本学ウェブサイト トップページ ▶ 入試案内 ▶ 学部入試 ▶ インターネット出願 ▶ ガイダンスページ
<https://www.guide.52school.com/guidance/net-tmu/>

学生寮案内

学生寮は、南大沢キャンパスに隣接しています。原則として、通学が不便で、経済的に困窮している学生を対象としています。申請方法等の詳細は、2022年1月下旬頃から本学学生課ウェブサイト (<https://gs.tmu.ac.jp/dormitory/>) にて公開する予定です。

学生寮申込における注意事項

「学生寮」の申込みは、入試の合格者発表を待ってからでは間に合いません。早めに学生寮募集要項を入手し、必要書類を添えて申請受付期間内に郵送してください。

第2次学力試験受験者に対する入試成績の開示について

2022年度一般選抜試験における第2次学力試験受験者のうち、希望するものに対して、学力試験の科目別得点を、出願時に登録したマイページより開示します。

提供する個人別成績の範囲は、最終合格者の合否判定に利用した大学入学共通テスト及び本学個別学力検査（第2次学力試験）の科目別得点です。

なお、本学が開示する大学入学共通テストの得点は、次の算式により換算したものです。

$$\text{大学入試センターが提供した科目別得点} \times \frac{\text{当該科目の本学の配点}}{\text{当該科目の大学入学共通テストの配点}}$$

請求方法等の詳細は、2022年4月中旬頃に本学ウェブサイト (<https://www.tmu.ac.jp/entrance.html>) に掲載する予定です。

本募集要項の記載事項に変更等が生じた場合は、別途、本学ウェブサイトや受験者心得等でお知らせします。

入学後のコース及び教室決定・選択について

人文社会学部、法学部及び経済経営学部のコース・教室決定

人文社会学部、法学部及び経済経営学部には、以下の学科・コース・教室があります。
学科単位で学生を募集し、入学後、2年次進級時に所属するコース・教室を決定します。

◆人文社会学部 人間社会学科（7教室※）

- 社会学教室
- 社会人類学教室
- 社会福祉学教室
- 心理学教室
- 教育学教室
- 言語科学教室
- 日本語教育学教室

◆人文社会学部 人文学科（8教室※）

- 哲学教室
- 歴史学・考古学教室
- 表象文化論教室
- 日本文化論教室
- 中国文化論教室
- 英語圏文化論教室
- ドイツ語圏文化論教室
- フランス語圏文化論教室

※ 志望者数が各教室の定数を超えた場合は、1年次の成績等によって受入れを決定します。

◆法学部 法学科（2コース）

- 法律学コース
同コース内には「法曹養成プログラム」が設置されており、1年次の成績によって受入れを決定します。
- 政治学コース

◆経済経営学部 経済経営学科（2コース）

- 経済学コース
- 経営学コース

システムデザイン学部のコース決定

システムデザイン学部の以下の学科には、学科ごとに設置されたコースがあります。
学科単位で学生を募集し、入学後、2年次後期から各コースに所属します。

◆電子情報システム工学科（2コース）

- 情報システムコース
- 電気通信システムコース

◆機械システム工学科（2コース）

- 知能機械コース
- 生体機械コース

各コース・教室の選択の年次については、今後変更となる場合があります。
内容等の詳細は、大学案内や本学ウェブサイト（<https://www.tmu.ac.jp/>）を参照してください。
入学後のコース及び教室決定・選択に関する問合せ先は、最終ページを確認してください。

2022年度 入学試験日程表

1月		2月		3月	
1	土	1	火	1	火
2	日	2	水	2	水
3	月	3	木	3	木
4	火	4	金	4	金
5	水	5	土	5	土
6	木	6	日	6	日
7	金	7	月	7	月
8	土	8	火	8	火
9	日	9	水	9	水
10	月	10	木	10	木
11	火	11	金	11	金
12	水	12	土	12	土
13	木	13	日	13	日
14	金	14	月	14	月
15	土	15	火	15	火
16	日	16	水	16	水
17	月	17	木	17	木
18	火	18	金	18	金
19	水	19	土	19	土
20	木	20	日	20	日
21	金	21	月	21	月
22	土	22	火	22	火
23	日	23	水	23	水
24	月	24	木	24	木
25	火	25	金	25	金
26	水	26	土	26	土
27	木	27	日	27	日
28	金	28	月	28	月
29	土			29	火
30	日			30	水
31	月			31	木

「前期日程・後期日程」
 出願期間

最終合格者発表・入学手続書類発送 [前期日程]

第1次選抜結果発表
 [前期日程・後期日程]

第2次学力試験 [後期日程]
 全学部（人文社会学部人文学科を除く）

入学手続期間
 「前期日程」

第2次学力試験 [前期日程]
 人文社会学部、法学部、経済経営学部【一般区分】、
 都市環境学部都市政策科学科【文系区分】

第2次学力試験 [前期日程]
 経済経営学部【数理区分】、理学部、都市環境学部（都市政策科学科【文系区分】を除く）、システムデザイン学部、健康福祉学部

入学手続期間
 「後期日程」

「前期日程・後期日程」
 出願期間

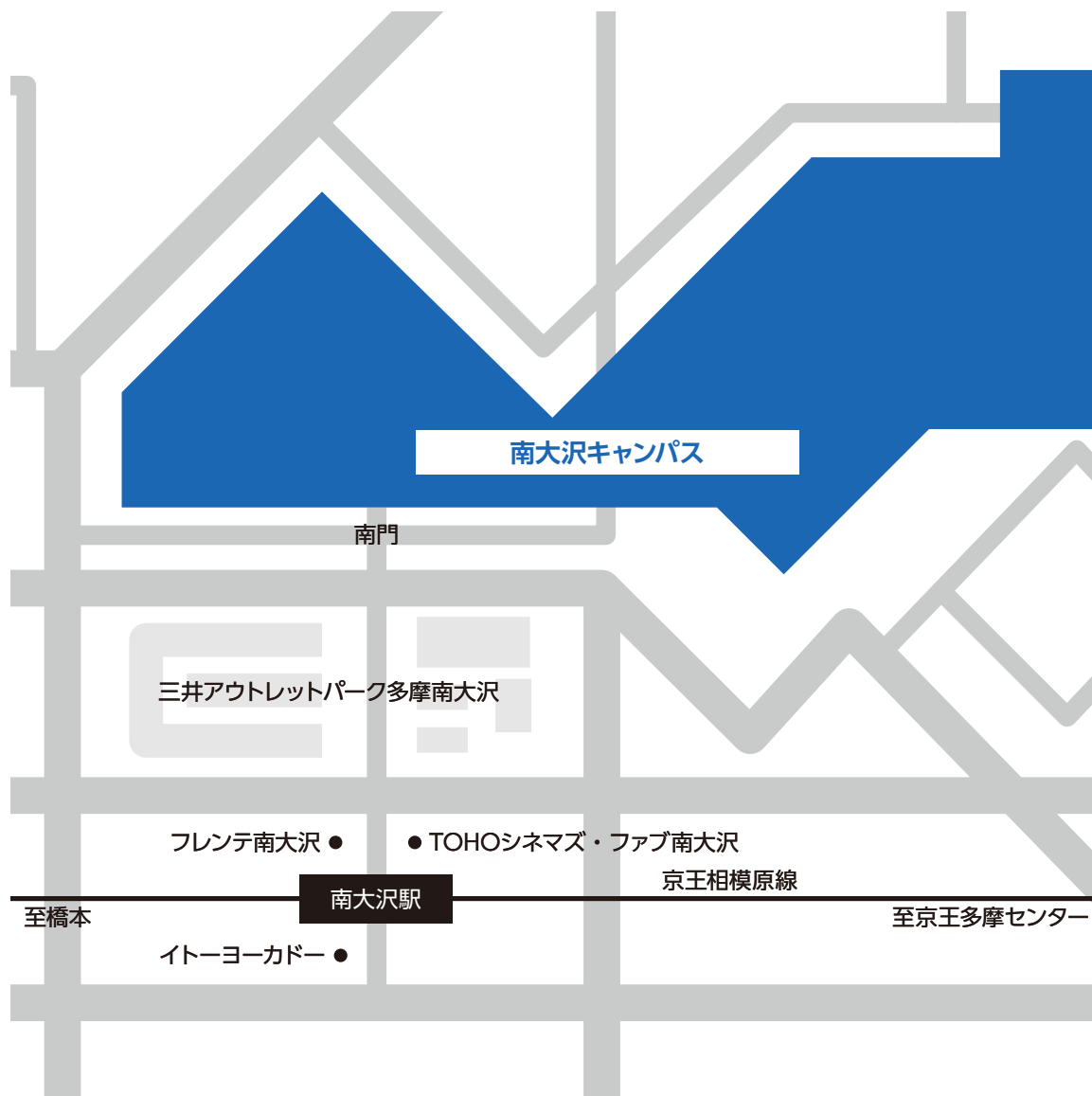
追加合格者発表 [前期日程・後期日程] ※2

追加合格者発表 [前期日程・後期日程] ※2

追加合格者入学手続 [前期日程・後期日程] ※2

※1 追試験の詳細は別途本学ウェブサイトに掲載します。
 ※2 各募集人員に欠員が生じた場合は追加合格を行うことがあります。

南大沢キャンパス



所在地

〒192-0397 東京都八王子市南大沢一丁目1番地

※ 出願書類の送付先とは異なりますので、ご注意ください。

交通

京王相模原線 南大沢駅下車 徒歩約5分（南門まで）

- ※ 試験室により、キャンパス内の移動に10分程度時間がかかる場合があります。
- ※ 自動車、バイク、自転車等での来場はご遠慮ください。
- ※ 試験当日の入構口は南門1か所です。

出願前にもう一度、ご確認ください

あなたの出願する日程、学科・区分が指定する「入学者選抜の実施教科・科目等」の大学入学共通テストの教科・科目をもう一度チェックしてください。

- ① 大学入学共通テストにおいて受験すべき教科・科目は、前期日程・後期日程、学科・区分で異なります。24～47ページにより、よく確認してください。
- ② 大学入学共通テストの科目で、『簿記・会計』、『情報関係基礎』については、本学では、選択できる者に制限を設けていますので、47ページの注意事項(1)を確認してください。

出願条件を満たしていない場合は、出願しても出願無資格者となりますので十分注意してください。

問合せ先

受付時間 9:00～17:00 (月～金) (ただし、祝日及び12:30～13:30を除く。)

問合せ内容		担当部署		連絡先※	
出願手続及び選抜関係		アドミッション・センター (入試課)		042-677-1111 (代) 内線2206・2213・2238 admission-tmu●jmj.tmu.ac.jp	
入学手続関係		教務課		042-677-2395 (直通) kyomu●jmj.tmu.ac.jp	
入学料及び授業料の減免・ 学生寮関係		学生課厚生係		042-677-2373 (直通)	
入学考査料の返還		会計管理課資金管理係		内線1046	
入学後のコース 及び教室決定・ 選択関係	人文社会学部	文系学務課	人文社会学部 教務係	042-677-1111 (代)	内線1115
	法学部		法学部教務係		内線1516
	経済経営学部		経済経営学部 教務係		内線1715
	システム デザイン学部	日野キャンパス管理部 学務課教務係	042-585-8611 (直通)		

※メールを送信する場合は、●を@に変換してください。

2022年度 一般選抜学生募集要項

2021年10月発行

編集・発行 東京都公立大学法人
東京都立大学アドミッション・センター (入試課)